



グローバル生物多様性 枠組（GBF）とビジネスの 関係性マッピング



KPMGインターナショナル

kpmg.com

本ガイドンスについて

本ガイドンスでは、ビジネスがグローバル生物多様性枠組（GBF）を達成するためにできるアクションや投資活動について、Business for Nature、持続可能な開発のための世界経済人会議（WBCSD）、世界経済フォーラム、自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）、国際金融公社（IFC）等が発行している既存のガイドンスを総整理し、生物多様性のアクションとGBFの23のターゲットを紐づけたセクター別のマッピングを作成しました。

本ガイドンスについて

本ガイドンスは、世の中に公表されている既存のセクター別ガイドンスの情報を統合して、優先すべき行動と、その行動が紐づくGBFターゲット（情報が存在する場合）をまとめています。KPMGは、GBFターゲットへのマッピングがまだ未実施であったいくつかのセクターに対して、マッピングを追加的に試行しています。

このガイドンスの目的は、企業と政策立案者の両方に対して、GBFターゲット達成のために実行できるビジネスアクションについて情報を提供することです。

本ガイドンスは「[企業が生物多様性枠組（GBF）に果たす役割とは](#)」の付属文書であり、KPMGインターナショナルが発行した「[Mapping of Business Contributions to GBF and NBSAPs](#)」の一部を抜粋し翻訳したものです。社会における議論の促進を目的としているため、網羅的かつ完全なものではなく、補完とレビューが必要であることにご留意ください。

ガイドンスの構成

ページタイトル	概要
本ガイドンスについて	本ガイドンスのイントロダクションと構成
参照情報一覧	マッピング作成に使用された参照情報一覧
GBFに貢献するビジネスアクション	各種ガイドンスから集約した自然に関するビジネスアクションのロングリストと、GBFターゲットへのマッピング（現状、マッピングは部分的）

参照情報一覧

本ガイダンス内のセクター呼称	サブセクター	主な参照ガイダンス・レポート類	KPMGによってGBFターゲットへのマッピングを新しく実施
農業・食品	農業・食品	BfN (Business for Nature)：Sector Actions for Nature - Agri-food	—
	農業・食品	WBCSD (持続可能な開発のための世界経済人会議)：Roadmaps to Nature Positive: Foundations for the agri-food system	—
	農業・食品	TNFD (自然関連情報開示タスクフォース)：Additional sector guidance - Food and agriculture	マッピングを実施
	飲料	TNFD (自然関連情報開示タスクフォース)：Draft sector guidance - Beverages	マッピングを実施
	養殖	TNFD (自然関連情報開示タスクフォース)：Additional sector guidance - Aquaculture	—
	漁業	TNFD (自然関連情報開示タスクフォース)：Draft sector guidance – Fishing	マッピングを実施
バイオテクノロジーと医薬品	バイオテクノロジーと医薬品	TNFD (自然関連情報開示タスクフォース)：Additional sector guidance - Biotechnology and pharmaceuticals	—
建築・環境	建築・環境	BfN (Business for Nature)：Sector Actions for Nature – Built Environment	—
	建築・環境システム	WBCSD (持続可能な開発のための世界経済人会議)：Roadmaps to Nature Positive: Foundations for the built environment	マッピングを実施
	エンジニアリング・建設・不動産	TNFD (自然関連情報開示タスクフォース)：Draft sector guidance – Engineering construction and real estate	マッピングを実施
化学	化学	BfN (Business for Nature)：Sector Actions for Nature – Chemicals	—
	化学	WEF (世界経済フォーラム)：Nature Positive：Role of the Chemical Sector	—
	化学	TNFD (自然関連情報開示タスクフォース)：Additional sector guidance – Chemicals	マッピングを実施
セメント・コンクリート	建設資材：セメント・コンクリート	BfN (Business for Nature)：Sector Actions for Nature – Construction Materials	—
	セメント・コンクリート	WEF (世界経済フォーラム)：Nature Positive：Role of the Cement and Concrete Sector	—
	建設資材	TNFD (自然関連情報開示タスクフォース)：Draft sector guidance – Construction materials	マッピングを実施

本ガイダンス内のセクター呼称	サブセクター	主な参照ガイダンス・レポート類	KPMGによってGBFターゲットへのマッピングを新しく実施
エネルギー	エネルギー	BfN (Business for Nature)：High-level Business Actions on Nature	—
	エネルギーシステム	WBCSD (持続可能な開発のための世界経済人会議)：Roadmaps to Nature Positive: Foundations for the energy system	作業中 (本バージョンには未反映)
	電力事業者・電力	TNFD (自然関連情報開示タスクフォース)：Additional sector guidance – Electric Utilities and Power generators	作業中 (本バージョンには未反映)
	石油・ガス	TNFD (自然関連情報開示タスクフォース)：Additional sector guidance – Oil and gas	—
ファッション・アパレル	ファッション・アパレル	BfN (Business for Nature)：Sector Actions for Nature – Apparel	—
	ファッション・アパレル	BfN (Business for Nature)：Fashion and apparel: Priority actions towards a nature-positive future	—
	アパレル・アクセサリー・靴	TNFD (自然関連情報開示タスクフォース)：Draft sector guidance – Apparel accessories and footwear	—
金融サービス	金融サービス	BfN (Business for Nature)：Sector Actions for Nature – Financial services	—
	金融機関	TNFD (自然関連情報開示タスクフォース)：Additional sector guidance – Financial Institutions	—
林業	林産物	BfN (Business for Nature)：Sector Actions for Nature – Forest products	
	森林	WBCSD (持続可能な開発のための世界経済人会議)：Roadmaps to Nature Positive: Foundations for the built environment	マッピングを実施
	林業・パルプ・製紙	TNFD (自然関連情報開示タスクフォース)：Additional sector guidance – Forest	マッピングを実施
淡水	淡水	SBTN (Science Based Targets Network) におけるResponse Option Database	—
家庭用品・パーソナルケア製品	家庭用品・パーソナルケア製品	BfN (Business for Nature)：Sector Actions for Nature – Household and personal products	—
	家庭用品・パーソナルケア製品	WEF (世界経済フォーラム)：Nature Positive：Role of the Household and Personal Care Sector	—
	美容	UEBT (倫理的バイオトレード連合)：Sector transitions to Nature Positive: Deep dive on beauty and biodiversity	—
土地	土地	SBTN (Science Based Targets Network) におけるResponse Option Database	—
金属・鉱業	金属・鉱業	TNFD (自然関連情報開示タスクフォース)：Additional sector guidance – Metals and mining	—
旅行	旅行・観光業	BfN (Business for Nature)：Sector Actions for Nature – tourism	—
	旅行・観光業	WTTC (世界旅行ツーリズム協議会) のレポート	—
廃棄物管理	廃棄物管理	BfN (Business for Nature)：Sector Actions for Nature – waste management	—
	廃棄物管理	BfN (Business for Nature)：Waste management: Priority actions towards a nature-positive future	—
水道事業・水道サービス	水道事業・水道サービス	BfN (Business for Nature)：Sector Actions for Nature - water utilities and services	—
	水道事業・水道サービス	BfN (Business for Nature)：Water utility services: Priority actions towards a nature-positive future	—

その他の関連参照情報

詳細	主な参照先
GBFにおけるターゲット一覧	生物多様性条約（Convention on Biological Diversity）：2030 Targets（with Guidance Notes）
Business for Natureによるハイレベルなセクター別ビジネスアクション	Business for Nature: Sector Actions Towards a Nature-Positive Future
Business for Natureによる政策への推奨事項	Business for Nature: Policy recommendations for effective implementation of the Global Biodiversity Framework
デジタル配列情報（DSI）に関連する情報	DSI SCIENTIFIC NETWORK

GBFに貢献するビジネスアクション

このセクションでは、自然に関するビジネスアクションについて記載された各種ガイダンスの情報を集約して、セクター別にとりうるビジネスアクションと、そのGBFへのターゲットとのつながり（部分的にマッピングを実施）をまとめています。このマッピングを通して、企業は自社の既存の活動とGBFのターゲットとのつながりを把握し、また追加的にとりうる行動のヒントを得ることで、ネイチャーポジティブへの移行に向けた優先事項を定めることに活用できます。

セクター	アクション	参照先	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
農業・食品	淡水使用量を削減する。	B4N			●							●													
農業・食品	バリューチェーン全体でGHG排出を回避・削減・除去する。	B4N								●															
農業・食品	土地と生態系の劣化を防ぎ、再生を加速させる。	B4N	●	●	●				●			●	●												
農業・食品	循環型経済を促進するために、製品・ビジネス慣行・技術を革新する。	B4N							●			●					●	●							
農業・食品	循環型経済を促進するために、サプライチェーン全体で協力・教育・支持する。	B4N														●	●	●			●	●	●		
農業・食品	契約栽培と原材料調達から生じる環境・社会リスクを管理するための戦略を策定する。	TNFD														●									
農業・食品	サプライヤー環境・社会面の監査に適合していることを確認し、重大・軽微な不適合を是正するための戦略を確立する。	TNFD														●									
農業・食品	農産物のうち、第三者の環境・社会基準で認証された製品の割合と収益を追跡し、認証を増やすための戦略を策定する。	TNFD															●								
農業・食品	ネイチャーポジティブな結果に重点を置いて、第三者の環境・社会基準に基づいて認証された食材の調達率の目標を設定した計画を作成する。	TNFD															●								
農業・食品	調達部門がトレーサビリティの需要を認識していること（例：交渉条項を使用する）を確認し、サプライチェーンのトレーサビリティを管理するためのシステムを導入しているサプライヤーを評価する。	TNFD														●	●								
農業・食品	優先順位の高い食品原材料のリストに基づいて、環境・社会課題による調達リスクに取り組む戦略を策定する。	TNFD										●				●									
農業・食品	原材料サプライヤーが、水リスクを管理するための緩和措置を行うことを要求する調達慣行を採用する。	TNFD			●																				
農業・食品	原材料のサプライヤーに対して、世界保健機関または米国食品医薬品局によって禁止されている農薬の使用を禁止する企業方針を求めるサプライヤー契約を使用する。	TNFD							●							●									
農業・食品	農産物の生産、動物飼料の調達・集約・加工、または取引のために調達される製品について、特定の目標と期限を設定して、農業による自然生態系の転換を削減または排除する方針を実行する。	TNFD			●											●									
農業・食品	土地の使用を削減し、自社生産と農産物の調達による土地利用効率を高めるための期限付き目標を設定した計画を作成する（土地に基づいた目標設定の詳細については、「Science Based Targets Network」を参照できる）。	TNFD										●													
農業・食品	主要な、類似原材料を扱うサプライヤー群や調達地域に対して、生態系の再生・回復・変革的な行動を可能にするためのランドスケープレベルの目標を設定し、一次生産者および主要なサプライチェーン参加者と協力する。	TNFD		●								●				●									
農業・食品	土壌の健康に対する主な脅威を特定し、使用される土壌管理手法や、肥料を含むインプットを最適化するアプローチを概説する土壌管理計画を作成する。	TNFD										●													
農業・食品	肥料の栄養タイプ（窒素、五酸化二リン、酸化カリウム）ごとの過剰な肥料使用強度を削減するための期限付き目標を設定した計画を策定する。	TNFD							●			●													
農業・食品	栄養素の利用効率を高め、栄養素の流出や富栄養化を緩和するための精密技術や、栄養素のリサイクルや有機肥料関連の技術に投資する。	TNFD							●			●													
農業・食品	土地利用の変化による排出を含む、GHG排出量を削減するための期限付き目標を設定した計画を作成し、GHG排出に対処するための主要な要素を特定する。	TNFD							●																
農業・食品	農薬の効率化技術と環境に優しい害虫駆除に投資する。	TNFD				●			●			●													

凡例
● 参照ガイダンス等におけるマッピング
● WBCSD “Roadmaps to Nature Positive : Foundations for all businesses” にて紐づけされているGBFとアクションのマッピング

セクター	アクション	参照先	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
農業・食品	有害な農薬の使用や過剰な農薬の使用に伴う負の影響を防止・軽減・修復するために、The International Code of Conduct on Pesticide Management (FAO) のベストプラクティスに沿った総合的病害虫・雑草管理 (IPM) の計画を策定し、遵守する。	TNFD							●			●													
農業・食品	NOx、SOx、NH3、NMVOC (非メタン炭化水素) を含む非温室効果ガスの大気排出を削減するための、期限付き目標を設定した計画を作成する。	TNFD								●															
農業・食品	再生農業の対象となる農業面積の割合や再生農業を行っている生産地から調達される商品の割合について、明確な目標を定めた戦略を策定する。	TNFD	●									●													
農業・食品	耕作地における自然の植生の増加や、花畑 (Flower strips) や樹木被覆のカバー率向上など、再野生化の取組みに投資する。	TNFD		●		●						●													
農業・食品	絶滅の危機に瀕している品種や作物の増加、在来作物の増加、作物の遺伝的多様性の増加に投資する。	TNFD				●					●	●													
農業・食品	遺伝子組換え生物 (GMO) の使用を管理するための戦略を実施する。	TNFD				●		●			●														
農業・食品	企業の事業活動エリアにすでに侵入している外来種のリスクを管理する戦略を実施する。	TNFD						●			●														
農業・食品	小規模生産者が責任あるサプライチェーンに参入し、収量や生産方法を改善できるよう支援する。	TNFD										●			●										
農業・食品	新しい土地や資源への権益を取得する前や開発や事業拡張の前に、影響を受ける可能性のある先住民や地域コミュニティの「自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意」(FPIC) を取ることを約束する。	TNFD											●		●								●		
農業・食品	慣習的権利 (customary rights) を尊重し、土地・資源・領土に対する権利に関連する既存の紛争が解決されるまで、土地の取得や開発を控える。	TNFD											●		●								●		
農業・食品	森林・土地・人権に関する活動家に対する暴力や脅威に対して、ゼロ・トレランス (不寛容) な対応をする。	TNFD											●												
農業・食品	影響を受けたコミュニティとの協議を含む、現地での先住民への影響を検証するための対応策を考える。	TNFD											●		●								●		
農業・食品	関連するステークホルダーと協議し、協力して、オペレーションレベルの苦情処理メカニズムを設置する。	TNFD											●		●								●		
農業・食品	「自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意」(FPIC) を遵守し、尊重するために、スクリーニングされたサプライヤーの割合と、IPLC (先住民族や地域コミュニティ) が負の影響を受けなかったことを確認できないサプライヤーの割合をモニタリングする。	TNFD											●		●		●						●		
農業・食品	淡水への負荷を軽減するために、表流水・地下水源からの取水量削減に関する水量目標や、淡水システムへの栄養塩類 (窒素・リン) の負荷削減に関する水質目標を含む、科学に基づいた目標を設定する。	TNFD			●				●																
農業・食品	NOx・SOx・農薬・抗生物質など、主要な汚染物質の水への排出を削減するため、明確な目標を定めた水管理計画を策定する。	TNFD			●				●																
農業・食品	水効率の高い農業技術・水リサイクル技術に投資する。	TNFD			●																				
農業・食品	直接操業またはサプライチェーンにおいて、食品ロス・廃棄物に対処するための方針を採用する。例えば、2030年までに食品廃棄物 (食べられない食品を捨てること) を50%削減し、フードロス (食べられる食品を捨てること) を少なくとも25%削減することを目指す。	TNFD																●							
農業・食品	パッケージのライフサイクルを通じて環境への負の影響を軽減する戦略を策定する。例えば、不必要なプラスチックパッケージの排除、使い捨てモデルからリユース (再利用) モデルへの移行、バージンプラスチックの使用量の削減、消費後にリサイクルできる成分の増加、プラスチックパッケージを再利用・リサイクル・コンポスト化できるようにすることなどが挙げられる。	TNFD										●						●							
農業・食品	プラスチックをリサイクルする技術やインフラ、プラスチックの再利用を行うソリューションに投資する。	TNFD							●									●							
農業・食品 (養殖)	負の影響を緩和する自然関連技術開発へ投資することによって、GHG排出量を削減する。	TNFD								●															
農業・食品 (養殖)	GHG排出量の少ない飼料に投資・移行することによって、飼料に起因する負の影響を緩和する。	TNFD								●															
農業・食品 (養殖)	農場の立地は周囲の生態系に影響を与える可能性があるため、農場を保護地域や高保全価値地域に位置しないようにする。	TNFD	●	●								●													
農業・食品 (養殖)	養殖場と自然の水域の間に、自然の植生による緩衝地帯を設けることで浸食を軽減する。	TNFD	●	●								●													
農業・食品 (養殖)	陸上・淡水・海洋の生態系を回復させる。	TNFD	●	●								●													
農業・食品 (養殖)	・森林破壊や土地転換につながる飼料原料を回避する。 ・廃棄物や生物由来の飼料原料の使用を推奨する。 ・生息地への影響が少ない代替的な飼料原料の使用を推奨する。	TNFD				●	●																		
農業・食品 (養殖)	以下の方法により、水柱 (water column) の濃縮と富栄養化を軽減する。 ・2つ以上の種の同時養殖 (「ポリカルチャー」や「多栄養段階統合養殖」とよばれる) を実施し、廃棄物粒子の濾過または吸収を促進したり、水富栄養化の原因となる炭素・窒素・リンの化合物をリサイクルしたりする。 ・環境の同化能力 (環境が物質を吸収する能力) をモニタリング・モデル化する技術によって、魚の飼料効率を改善する。 ・養殖の世代間の休養期間を増やす。 ・より良い水の流れや、より適した条件を備えた場所に養殖生産を移動する。 ・半閉鎖的または閉鎖的な生産システム (外部環境と隔離された状態で生産活動を行うシステム) へ投資する。	TNFD							●													●			

セクター	アクション	参照先	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
農業・食品（養殖）	養殖における廃棄物を減らすために、年齢・健康状態・その他の条件に基づく養殖種の栄養要求、魚のバイオマスとサイズの均一性、飼料の質、適切な飼料管理などの関連データを収集する。	TNFD							●																
農業・食品（飲料）	サプライヤーに対するウォータースチュワードシップ活動：ベストプラクティスの共有、能力開発とトレーニング、認証の奨励、共同研究など、サプライヤーと協力して水管理の実践を改善する。	TNFD														●									
農業・食品（飲料）	サプライヤーの土地利用と管理に関する慣行（再生農業など）を定期的に評価し、森林破壊ゼロに関する目標を設定して達成するよう奨励する、もしくは森林破壊に関する認証を求める。	TNFD														●									
農業・食品（飲料）	特に水不足の地域において、水源の保全または回復、および水へのアクセスの保証を目的とした地域プロジェクトを実施する。例えば、自然を活用した解決策（NbS）の導入や、泥炭地の修復プロジェクトなどに参加・支援する、また地域コミュニティ・学校・非営利団体・政府と協力して、水の保全に関する教育と意識向上を促進する。	TNFD		●	●											●		●							
農業・食品（飲料）	水ストレスが高いと特定された地域全体で水利用効率を優先した目標を設定し、流域管理プロセスを実施する。例えば、年1回の水ストレス評価・測定を行う。	TNFD		●														●							
農業・食品（飲料）	生産工程から発生する有機廃棄物・水・包装材料など、廃棄物を削減・再利用・リサイクルするためのシステムを実施する。例えば、 ・プラスチックの返却・詰め替え可能なシステムを確立し、プラスチックのリサイクルやリサイクル素材の活用を行う。 ・排水処理や水の再利用（例：灌漑、第三者との協同）	TNFD										●						●							
農業・食品（飲料）	サトウキビ・果物・穀物などの主要な作物に関して、点滴灌漑や雨水収集などの水効率の高い灌漑技術を採用するよう農家を奨励・支援する。例えば、持続可能な農業プラットフォームを活用してサプライヤーの持続可能性レベルを評価し、作物の輪作や作物間の生物多様性の向上など、再生可能な農業の実践に関するトレーニングを行う。	TNFD										●				●									
農業・食品（飲料）	生産プロセス内で排水を処理し、水をリサイクル・再利用するシステムを導入する。	TNFD																●							
農業・食品（飲料）	古い機械やパイプラインなどの設備を、より水効率の良いモデルに交換する。	TNFD				●																			
農業・食品（飲料）	スマート水管理システムを使用して水の使用量をモニタリング・制御し、改善すべき領域を特定し、無駄を削減する。	TNFD										●						●							
農業・食品（飲料）	生産に必要な水を減らす製品を設計し、水の補給プロジェクトを通じて使用した水を補う方法を探す。	TNFD			●							●						●							
農業・食品（飲料）	さまざまな製品の水フットプリントを評価し、水への影響が少ない製品を優先・促進することによって、ポートフォリオを調整する。	TNFD														●		●							
農業・食品（飲料）	水の使用状況・管理方法・保全活動について定期的に報告する。	TNFD															●								
農業・食品（飲料）	水管理におけるリーダーシップと説明責任を示すために、特定の水削減目標を公的に設定し、責任を持つ。例えば、生産された飲料あたりの水使用量、主要作物に対する森林伐採の目標・コミットメントなどを掲げる。	TNFD														●	●								
農業・食品（飲料）	パッケージの削減と再利用を促進する、新しい循環型ビジネスモデルを導入する。	TNFD																●							
農業・食品（漁業）	以下に挙げるような方法で、オペレーション全体のトレーサビリティを改善する。 ・小規模漁業・大規模漁業：トレーサビリティを向上させ、漁獲量を報告する。ログ管理システムや、漁獲量記録システムを用いる。 ・加工段階：直接操業やバリューチェーン上流の海産物購入に関して、TNFDが定めているすべての指標を報告する。 ・MAT（Marine Aquarium Trade）：生物が元の漁獲場所まで追跡可能であることを保証する。	TNFD															●								
農業・食品（漁業）	以下に挙げるような方法で、漁具が底生生息地に与える影響を減らし、海底に生息する種および生物多様性に負の影響を与えないようにするための計画を作成する。 ・漁具を変更する。 ・漁獲区域を変更する。 ・損傷した漁獲区域の生息地を保護・回復させる。	TNFD		●	●											●									
農業・食品（漁業）	以下に挙げるような方法で、LEAPアプローチのL4で定義されている影響を受けやすい場所（sensitive location）に、深刻で不可逆的な害を及ぼさないようにするための計画を作る。 ・負の影響が少ない漁具を採用する。 ・影響を受けやすい生息地での漁業を停止するため、漁獲区域を変更する。 ・損傷を受けた敏感な場所の保護・回復を行う。	TNFD		●	●											●									
農業・食品（漁業）	漁業の管理主体との対話を通じて、生態系に基づく漁業管理（Ecosystem Based Fishery Management）の原則の実施を支援する。 ※「生態系に基づく漁業管理」について、NOAAにおいては、単一の種や問題を切り離して考えるのではなく、生態系内のすべての相互作用を認識する全体論的な漁業のアプローチであると説明されている。	TNFD										●													
農業・食品（漁業）	気候変動が将来生態系に与える影響を評価する。	TNFD								●													●		
農業・食品（漁業）	企業の船舶のエンジンに、クローズドループ式のスクラバー（排ガス処理装置）を使用する。	TNFD								●															
農業・食品（漁業）	リサイクル可能な漁具、生分解性素材／非ポリマー素材／化石燃料に由来する漁具、ロープ素材を使用した漁具へ移行する。	TNFD							●																

セクター	アクション	参照先	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
農業・食品（漁業）	企業が、ゴーストギアや放棄・紛失・廃棄された漁具（ALDFG）の管理戦略を持っていることを確認する。 ・漁具に港の識別情報の詳細・IMO船舶識別番号を記載する。 ・漁具を回収する。回収できない場合は、関連当局・Global Ghost Gear Initiativeのような組織に報告する。例えば、“Global Ghost Gear”のアプリを通じて漁具の紛失を報告することができる。	TNFD							●																
農業・食品（漁業）	マルポール条約（船舶による汚染に関する条約）で定義された、廃棄物の各カテゴリを管理するための回収・処分計画があることを確認する。	TNFD							●																
農業・食品（漁業）	以下に挙げるような方法で、汚染物質を軽減する。 ・より厳しい廃船やリサイクルの要件を回避するための「便宜置籍船」（船の籍を本来の国ではなく他の国に置くこと）を使用しない。 ・漁船隊の廃船計画を考慮し、それが会社の財務計画にどのように反映されるかを検討する。 ・ピーチング（作業のために意図的に船に上陸させること）を回避する、もしくは、環境資産や生態系サービスへの影響を最小限に抑えてピーチングを実施するための措置を講じる。 ・FAO Global Record of Fishing VesselsやRefrigerated Transport Vessels and Supply Vesselsを通じて登録された船舶とその旗のリストを公開する。すべての適格な船舶に国際海事機関番号（International Maritime Organization）の番号を義務付け、その他のすべての船舶には国の固有の船体の識別番号を義務付ける。 ・マグロ漁業におけるProActive Vessel Register（公開船舶リスト）やVessels in Other Sustainability Initiatives（VOSI）など、業界固有のリストに船舶を掲載する。	TNFD							●																
農業・食品（漁業）	ビルジ水（船底に貯まる不要な液体）・バラスト水（船を安定させるために重しとして貯留する水）の排出を排除する。加工業者の場合は、サプライヤーに対してビルジ水・バラスト水の排出を排除するように働きかける。	TNFD						●																	
農業・食品（漁業）	外来種が含まれている可能性が高い輸入餌を回避する。	TNFD						●																	
農業・食品（漁業）	MAT（Marine Aquarium Trade）のために輸出または輸入される種が以下に準ずることを確認する。 ・Global Invasive Species Databaseに侵入種として登録されていない。 ・輸入管轄区域において侵入種として登録されていない。	TNFD						●																	
農業・食品（漁業）	以下の生物種への影響を回避する。 ・ワシントン条約（絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約） 付属書1および2に記載されている種。 ・ボン条約（移動性野生動物種の保全に関する条約） 付属書1に記載されている種。 ・IUCN Red List of Threatened Speciesに深刻な危機（CR：Critically Endangered）、絶滅危惧（EN：Endangered） 危急（VU：Vulnerable）と登録されている種。	TNFD				●	●																		
農業・食品（漁業）	持続可能に管理された魚群にのみ漁獲を注力し、最大持続生産量（MSY：Maximum Sustainable Yield）等の指標に一致するレベルで漁獲されるように調整する。 最新の科学的な魚群評価や気候変動が漁業に与える影響の分析など、影響を受ける種の長期的な生産性を維持するための戦略や計画を策定する。データ不足が原因で魚群評価が行われていない場合、データ収集作業を開始・支援する。 漁獲後の損失を最小限に抑え、効率的に餌を使用する。	TNFD					●																		
農業・食品（漁業）	海洋管理協議会（MSC：Marine Stewardship Council）基準、またはFAOの第三者評価の取り決めに従った、他の信頼できる基準での認証を受ける。	TNFD					●									●									
農業・食品（漁業）	漁業改善プロジェクト（FIP：Fishery Improvement Project）を立ち上げる。	TNFD					●																		
農業・食品（漁業）	以下に挙げるような、混獲を回避する計画を作成する。 ・混獲を回避する機構を備えた漁具を使用する。例えば、ウミガメ排除装置・メディナパネル（漁獲対象種以外が絡まるのを防ぐ微細な網）トリライン（鳥の混獲を減らす装置）・音響抑止装置（ピンガー：特定の周波数の音によって海洋哺乳類の接近を防ぐ装置）の使用、光によってホタテを引き寄せる技術、網のメッシュサイズやトロール網の開口部（トロールドア）の変更などが挙げられる。 ・クジラ類の混獲のリスクがある地域で刺網や絡まり網（entangling nets）を使用する場合、音響抑止装置（ピンガー）を使用する。 ・漁獲が行われる／陸揚げされる国の国内法に基づいて適切なメッシュサイズの網を使用し、最小保全基準サイズ（MCRS：Minimum Conservation Reference Size）未満の魚の混獲を最小限に抑える。	TNFD					●																		
農業・食品（漁業）	IUU漁業（違法、無報告、無規制漁業）が発生していないことを確認する。 以下に挙げるような方法で、企業が所有する船舶や水源漁業での混獲がないことを確認する。 ・すべての船舶に遠隔電子モニタリング（REM）技術が搭載されていることを確認する。 ・人間の監視者がいる船舶の数を増やす。	TNFD					●																		
農業・食品（漁業）	企業がサメを保持・上陸させる場合は、ヒレが自然についた状態を保つ方針（fins naturally attached policy）※があることを確認する。 ※サメのヒレだけを切り取って海へと捨てる「シャークフィニング」を防ぐものと考えられる。	TNFD					●																		
農業・食品（漁業）	自動識別システム（AIS）または船舶監視システム（VMS）など、公開されアクセス可能なモニタリング技術が船舶に使用されていることを確認する。	TNFD					●																		
農業・食品（漁業）	Blue Recovery Bondなど、革新的な資金調達手段に取り組む。	TNFD														●				●					

セクター	アクション	参照先	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
農業・食品（漁業）	生態系に基づく漁業管理（Ecosystem Based Fishery Management）の原則に従う。つまり、単一の種の資源生産性の維持のみに焦点を当てるのではなく、生態系全体の完全性を確保するように管理する。	TNFD					●				●														
農業・食品（漁業）	特に水不足の地域では、加工・輸送段階における水消費を削減するためのベストプラクティスを採用する。	TNFD			●								●												
農業・食品（畝作物商品）	持続可能な集約化や再生農業の成果を促進するために、農業のためのインプット（例：バイオベースの材料）、技術（例：MRV（Measurement, Reporting, and Verification）の改善）、サービスの開発と展開を行う。	WBCSD							●			●													
農業・食品（畝作物商品）	温室効果ガスの排出の削減（例：グリーンアンモニア）、水の削減（特に水不足地域における削減）、鉱業・工業プロセス等からの水質汚染を削減する。	WBCSD							●				●												
農業・食品（畝作物商品）	森林破壊と改変のない（DCF: Deforestation- and Conversion-Free）生産慣行にコミットし、実施する。それにあたり、バイオーム固有のガイドラインやカットオフ日を参照し従う。	WBCSD	●	●																					
農業・食品（畝作物商品）	農業と水の使用を最適化し、GHG排出量を削減するための持続可能な農業の集約化を実施する。例えば、4R Nutrition Stewardship（4Rとは、right source、right rate、right time、right placeを表す）、総合的病害・害虫管理（IPM）、効率的な灌漑などが挙げられる。	WBCSD							●			●													
農業・食品（畝作物商品）	土壌の健康・生物多様性・炭素隔離を改善するために再生型農業に移行する。例えば、輪作、被覆作物、不耕起栽培、バイオベースのインプット、作物・家畜・林業の統合型システム（ICLFS: Integrated Crop-Livestock-Forestry Systems）が挙げられる。	WBCSD										●													
農業・食品（畝作物商品）	荒廃した牧草地など、劣化した土地での持続可能な生産を拡大する。	WBCSD		●																					
農業・食品（畝作物商品）	事業所内および隣接地域の保護価値の高い（HCV：High Conservation Value）ランドスケープの保全・回復を行う。	WBCSD			●																				
農業・食品（畝作物商品）	調達先における森林破壊と改変のない（DCF: Deforestation- and Conversion-Free）生産をサポートし、インセンティブを与える。それにあたり、バイオーム固有のガイドラインやカットオフ日を参照し従う。	WBCSD	●	●																					
農業・食品（畝作物商品）	調達先での持続可能な集約化をサポートし、インセンティブを与える。	WBCSD							●			●													
農業・食品（畝作物商品）	調達先での再生型農業をサポートし、インセンティブを与える。	WBCSD										●													
農業・食品（畝作物商品）	直接操業と調達先、隣接地域、もしくはそれ以外の地域における保護価値の高い（HCV：High Conservation Value）ランドスケープにおける保全・復元プロジェクトをサポートし、インセンティブを与える。	WBCSD			●																				
農業・食品（畝作物商品）	特に水不足地域において事業上の温室効果ガス排出量、水使用量、加工・食品製造からの水質汚染を削減する。	WBCSD							●				●												
農業・食品（畝作物商品）	道路・鉄道・海上輸送の運用における温室効果ガス排出量と環境への影響を削減する。例えば、車両の電化など。	WBCSD							●																
農業・食品（畝作物商品）	バリューチェーン全体での食品ロスおよび廃棄物を削減する。例えば農場・小売・レストラン・消費者の習慣などのバリューチェーンを含む。	WBCSD																●							
農業・食品（畝作物商品）	森林破壊と改変のない（DCF：Deforestation- and Conversion-Free）、再生農業、有機農業、プラントベースなど、自然に配慮した成分・製品・キャンペーンを開発する。	WBCSD	●	●								●													
バイオテクノロジーと医薬品	自然を活用した解決策を通じ、自然生態系を回復する。例えば、マラリア治療に使用される有機化合物である“キニーネ”を生むキナ樹が生育するアマゾン熱帯雨林の再植林に投資する。	TNFD																							
バイオテクノロジーと医薬品	持続可能なサプライヤーとの連携戦略によって水管理を改善する。	TNFD																							
バイオテクノロジーと医薬品	水利用効率の向上、持続可能な水管理戦略を実施する。例えばクローズドループの設備へのアップグレードなど。	TNFD																							
バイオテクノロジーと医薬品	分子レベルで汚染の除去・修復・最小化に努める。例えば放出制御製剤を設計する。	TNFD																							
バイオテクノロジーと医薬品	廃棄物の最小化とリサイクルを行う。例えば、医薬品の設計・製造のためのグリーンケミストリーへの投資など。	TNFD																							
バイオテクノロジーと医薬品	再生可能な原材料およびエネルギーを使用する。例えば、包装や保管等の補助的な生産活動を支援するために太陽光発電を設置する。	TNFD																							
バイオテクノロジーと医薬品	持続可能なバイオ原料を利用する。例えば、研究が終了した後の藻類を飼料の原料として使用する。	TNFD																							
バイオテクノロジーと医薬品	バイオベースの原料を生産するための再生農業を利用する。例えば、生物多様性の向上に有益な生息地を維持しながら、原料となる作物を栽培する。	TNFD																							
バイオテクノロジーと医薬品	分解されやすく環境に優しい医薬品を開発・設計する。	TNFD																							
バイオテクノロジーと医薬品	酸化プロセスなど、廃水における医薬品残留物の除去を強化する技術開発とその実践に投資・支援する。	TNFD																							
バイオテクノロジーと医薬品	医薬品回収プログラムを実施し、未使用・期限切れの医薬品を患者が適切に廃棄できるようにする。	TNFD																							
建築・環境	陸上・淡水・海洋の生息地のさらなる土地転換を回避する。	B4N	●		●																				
建築・環境	建物解体よりも、再利用と改修を優先して行う。	B4N	●																						
建築・環境	自然を考慮した素材を選択し、循環性へ投資する。	B4N							●				●			●									
建築・環境	自然を活用した解決策（NbS）を使用する。	B4N		●	●					●			●	●											

セクター	アクション	参照先	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
建築・環境	中央集約型の自然関連データセットを開発するイニシアティブと協力する。データセットには、空間データの活用、伝統的な土地利用情報の組み込み、測定方法の標準化に取り組むものが挙げられる。	TNFD																				●	●		
建築・環境	建設資材の再利用とリサイクルを最大化する。	TNFD																●							
建築・環境	建物とインフラの再利用・改修を、解体よりも優先する。	TNFD																●							
建築・環境	新規構築・改修に循環型経済プラクティスを採用する。	TNFD																●							
建築・環境	新しい建物・インフラの寿命を最大化するように設計する。	TNFD																●							
建築・環境	調達戦略に自然関連の基準を組み込み、上流のサプライヤーの行動に影響を与える。	TNFD														●									
建築・環境	適切な代替品が利用可能な場合は、負の影響が大きい商品の使用を最小限に抑える。	TNFD			●												●								
建築・環境	サプライチェーンを評価・モニタリング・規制して、違法な森林伐採を回避する。	TNFD			●												●								
建築・環境	生態学的価値の高い森林からの木材使用は回避する。	TNFD			●							●					●								
建築・環境	影響を受けやすい地域（sensitive locations）での開発を回避する。自然の価値が限られた土地での開発を優先する。	TNFD	●	●														●							
建築・環境	埋立地の開発、高密度化、以前に土地転換された地域への建築を通じて、さらなる生息地の変換を最小限に抑える。	TNFD											●		●										
建築・環境	建設中や建設後に、敷地内および隣接する生息地の生態系や生物多様性の価値を保護する。	TNFD				●																			
建築・環境	生息地や野生生物への影響が避けられない場合、生物多様性に良い影響を与えるための測定可能な行動と戦略にコミットする。 可能な限り現場での（オンサイトの）行動を通じて生物多様性ネットポジティブを提供する。現場でとりうる選択肢が尽きた場合は、バリューチェーンへの影響に限定してオフサイトでの行動を検討する。	TNFD		●	●	●																			
建築・環境	生態系を分断する線形のインフラの建設に際して、ランドスケープの回廊、エコロジカル・ネットワーク、動物の横断路（いずれも環境の中で生物が移動しやすくし、生息地の断片化を防ぐ施策）を設置・維持する。例えば、政府のエコロジカル・ネットワーク計画に沿った場所を選ぶなど、戦略的に重要な場所を優先する。	TNFD				●							●												
建築・環境	廃棄物削減対策を導入する。	TNFD							●																
建築・環境	汚染物質管理のベストプラクティスを採用する。	TNFD							●																
建築・環境	すべての新規開発で栄養素の中立性（栄養塩類の環境への流出が増加しないようにする）を確保する。	TNFD																							
建築・環境	騒音制御のベストプラクティスを採用する。	TNFD				●																			
建築・環境	騒音の影響が少ない新しい技術に投資する。	TNFD				●																			
建築・環境	水効率化の方法を導入する。	TNFD			●																				
建築・環境	侵入種や害虫の拡散を制限するためのベストプラクティスを採用する。	TNFD						●																	
建築・環境	より多様な在来種を造園に組み込む。潜在的な侵入種を回避する。	TNFD						●			●														
建築・環境	生態系サービスの提供を維持するために、周辺の生態系の保護・保全・再生・復元に投資する。	TNFD		●	●																				
建築・環境	都市のヒートアイランド現象を緩和するため、都市の緑地に投資する。	TNFD											●	●											
建築・環境	新しい都市緑地・水辺の空間を作成して、すべての人に生態系サービスを提供する。	TNFD											●	●											
建築・環境	水処理設備を改善する。	TNFD			●																				
建築・環境	水効率対策と雨水の集水を導入する。	TNFD																●							
建築・環境	テナントと協力して水の需要を削減する。	TNFD																●							
建築・環境	可能な場合は、生息地を保護するためのビジネス上の行動を行う。	TNFD				●							●												
建築・環境	汚染管理のベストプラクティスを採用する。	TNFD							●																
建築・環境	優先すべき生息地をスクリーニングし、設計段階で自然への影響を考慮する。	TNFD	●			●										●									
建築・環境	洪水リスクの軽減などに対して、グレイインフラの代替・補完として、自然を活用した解決策（NbS）を検討する。	TNFD	●							●															
建築・環境	設計段階で、自然への初期段階における影響／継続的な影響を考慮し、軽減策を組み込む。	TNFD	●		●											●									
建築・環境	地域開発の影響を最小限に抑えるために、先住民・地域コミュニティ・ステークホルダー・近隣住民と協力する。	TNFD											●											●	

セクター	アクション	参照先	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
建築・環境	絶滅危惧種の生息地、または価値の高い生態系の近くの場所について、より厳しい計画規制を促進する。	TNFD	●		●											●									
建築・環境	生物学的に高価値な生息地、または、脆弱な生息地（水ストレスが高いなど）での資材採取を行わない。IFC PS6（International Finance Corporation Performance Standard 6）を参照。	WBCSD	●		●																				
建築・環境	自然の生息地と動物の移動経路を避けてプロジェクトを計画する。	WBCSD	●		●	●																			
建築・環境	可能な限りリサイクル素材を使用し、バージン素材の使用を削減する。	WBCSD			●													●							
建築・環境	専門家向けの調達ガイドラインを作成する。	WBCSD			●											●									
建築・環境	自由に流れている河川（free-flowing rivers）に対し、ダム建設をしない方針を策定する。	WBCSD	●		●											●									
建築・環境	脆弱な種の繁殖期・営巣期・資源が不足している（例えば、水ストレスが高い）時期に有害な活動を行わない。	WBCSD	●		●																				
建築・環境	貴重な生態系の周囲に緩衝地帯や緑の回廊を設ける。	WBCSD	●		●	●																			
建築・環境	生息地の接続性を考慮したプロジェクトを設計する。	WBCSD	●		●	●																			
建築・環境	洪水対策や水質浄化など、生態系の機能とサービスの低下を回避するプロジェクトを設計する。	WBCSD	●		●								●												
建築・環境	サプライヤーの変更をすることで、自然への負の影響が少ない場所へ生産を移動する。	WBCSD	●		●																				
建築・環境	木材が合法的に伐採されたことを確認するために、非認証木材がデューデリジェンスおよびトレーサビリティシステムによってカバーされていることを確認する。	WBCSD										●					●								
建築・環境	採掘・生産現場の景観修復に投資する。	WBCSD		●																					
建築・環境	水の補給（water replenishment）に関するプロジェクトを実施する。	WBCSD		●																					
建築・環境	劣化した土地での再植林・新規植林に取り組む。	WBCSD		●																					
建築・環境	流域管理や生物多様性の向上など、状況や背景に基づいたランドスケープ管理に取り組む。	WBCSD		●									●												
建築・環境	影響を受ける生息地に関連する、個々の生物種の保全プログラムを支援する。	WBCSD		●		●																			
建築・環境	代償的な生態系保全を確実にを行う／目標のある生態系の補償を行う。	WBCSD			●																				
建築・環境	サンドモーター技術（一度に大量の砂を海岸に投入し、自然の力で砂を分散させる技術）を使用して、人工砂の繰り返しの補充を防止する。	WBCSD			●																				
建築・環境	生産現場における生物多様性を促進するための管理手法を適用する。例えば、朽ちかけた木材、森林の未利用材、高い切り株やretention treesを維持する。	WBCSD		●		●																			
建築・環境	資源の不足時（例：水の不足時）における資源の使用を削減する。	WBCSD			●								●												
建築・環境	灌漑用水を用いるなど、資源のインプットを最適化する。	WBCSD			●													●							
建築・環境	解体された材料を新築や改修で最大限に再利用することで循環性を高める。	WBCSD																●							
建築・環境	例えば、FSC（Forest Stewardship Council）認証木材のような持続的に認証された原料を使用し、優先的な調達を実施する。	WBCSD														●									
建築・環境	事業の効率を向上させる。	WBCSD														●									
建築・環境	土壌と森林における炭素貯蔵を増加させる。例えば、バイオ炭を使用する。	WBCSD								●															
建築・環境	生産者責任拡大モデル（extended producer responsibility models）を採用して、使用済み廃棄物を管理する。	WBCSD																●							
建築・環境	包装廃棄物、特に使い捨てプラスチックを削減する。	WBCSD							●									●							
建築・環境	建設中の照明レベルを下げ、光害を最小限に抑える。	WBCSD							●																
建築・環境	廃棄物を排除する設計によって、循環型インフラを確立する。	WBCSD							●									●							
建築・環境	生物学的重要性の高い地域内や隣接地域での事業を回避する。	WBCSD		●																					
建築・環境	水ストレスが高い地域での事業を回避する。	WBCSD			●								●												
建築・環境	自然の生息地や、動物の移動ルートを回避するプロジェクトを計画する。	WBCSD	●	●																					
建築・環境	可能な限りリサイクル材料を使用し、バージン原料の使用を削減する設計をする。	WBCSD			●				●									●							
建築・環境	専門家向けの調達ガイドラインを作成する。	WBCSD														●									
建築・環境	素材の循環型ビジネスモデルの開発を支持する。	WBCSD																●							
建築・環境	自然を活用した解決策を使用する。例えばグリーンルーフ、鳥やコウモリに優しい建材を用いるなど。	WBCSD				●																			

セクター	アクション	参照先	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
建築・環境	洪水の軽減や暴風雨からの保護に、自然を活用した解決策を使用する。例えば、マングローブ、半人工的なサンゴ礁など。	WBCSD																							
建築・環境	生息地を強化するためにコンクリート等の材料を使用する。	WBCSD																							
建築・環境	水ストレス地域における水消費削減計画を実施する。例えば、水の消費量を季節的な降雨量に合わせるなど。	WBCSD																							
建築・環境	処理水の回収を最大化する。例えば水を再利用したり、クローズドループの技術を適用したりする。	WBCSD																							
建築・環境	他産業からの回収水を利用する。例えば、地元の飲料会社と提携して排水を再利用する。	WBCSD																							
建築・環境	地下水の代わりに、雨水を採取し使用する。	WBCSD																							
建築・環境	再生可能エネルギーや天然ガスなど、よりクリーンな代替燃料へ切り替える。	WBCSD																							
建築・環境	気候科学に沿った、期限付きかつ検証済みのCO ₂ 削減目標を設定する。	WBCSD																							
建築・環境	機器のエネルギー効率を向上させる。例えば、コージェネレーションシステム、回収ボイラー（recovery boiler）を用いるなど。	WBCSD																							
建築・環境	循環型デザインの原則を適用して、製品の回収可能性を最大化する。	WBCSD																							
建築・環境	建築物のレジリエンスを高めるために投資する（自然な日陰による快適性、受動的な暖房・冷房機能を目的としたグリーンルーフの設置）	WBCSD																							
建築・環境	排水処理を改善する。	WBCSD																							
建築・環境	可能な場合は、バイオベースの化学物質・接着剤・塗装の使用を増やす。	WBCSD																							
建築・環境	副産物を他の産業に販売し、廃棄物や処理残渣をアップサイクルする。	WBCSD																							
建築・環境	適切な環境管理計画を策定し、土壌の圧密を回避・低減し、騒音や光の妨害を最小限に抑える。	WBCSD																							
建築・環境	造園の際に在来種・地域の植物種を選択する。	WBCSD																							
建築・環境	生物多様性を維持するために地元の植物をその地で維持・管理する。	WBCSD																							
建築・環境	その場所に適した自然の管理方法を適用する（例：自然界での大規模な攪乱を模倣するために、皆伐を行う）。	WBCSD																							
建築・環境	水とエネルギーの使用を削減するために、建物の利用者に持続可能な行動を奨励する。	WBCSD																							
建築・環境	雨水の収集を適用する（例：地表流出水や屋上の雨水収集）。	WBCSD																							
建築・環境	再生可能エネルギーへ移行する。	WBCSD																							
建築・環境	輸送における再生可能燃料の使用を増やす。例えば、電気トラック・水素船／艇（バージ）を用いるなど。	WBCSD																							
建築・環境	プラントベースの浄水を用いるなど、自然を活用した解決策（NbS）をとる。	WBCSD																							
建築・環境	船舶からの未処理のブラックウォーター（下水）、グレイウォーター（生活排水）、ビルジ水（船体内部の不要液体）の放出を最小限に抑える。	WBCSD																							
建築・環境	生態系が敏感な場所、またはその隣接地域に埋立地やリサイクル施設を設置しない。	WBCSD																							
建築・環境	より高品質で柔軟性のある建物の内部システムを選択し、耐久性を高めることで改装の必要性を回避する。	WBCSD																							
建築・環境	材料を再利用および再目的化するための解体プロセスを設計し、完全な解体を避けて建物を再利用する。	WBCSD																							
建築・環境	可能な場合はサプライチェーンを現地化して輸送量を削減する。	WBCSD																							
建築・環境	廃棄物焼却からのエネルギー再利用を最適化する。	WBCSD																							
建築・環境	規制・計画・管理などを通じて、安全な埋立処分場を確保する。	WBCSD																							
建築・環境	再利用のための廃棄物分別プロセスを最適化する。	WBCSD																							
セメント・コンクリート	バリューチェーン全体にわたるウォータースチュワードシップを改善する。	B4N																							
セメント・コンクリート	温室効果ガスや大気中の排出物を削減する技術や製造方法を採用する。	B4N																							
セメント・コンクリート	採石場の再生やリハビリテーションのアプローチを継続し強化するとともに、生物多様性管理を行い、占有地全体の土地管理を改善する。	B4N																							
セメント・コンクリート	バリューチェーン全体で循環性の取組みを拡大する。	B4N																							
セメント・コンクリート	ネイチャーポジティブへの移行をサポートする製品を提供するためのイノベーションを起こす。	B4N																							
セメント・コンクリート	生態学的に影響を受けやすい地域、特に保護地域や、各国の生物多様性国家戦略・行動計画（NBSAP）の下で保護される可能性の高い地域での開発を回避する。その代わりに、ブラウンフィールド（開発済みで放置された土地）や集中的に耕作されている地域など、すでに改変された生息地での開発に焦点を当てる。	TNFD																							

セクター	アクション	参照先	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
セメント・コンクリート	生物多様性管理計画を採用し、仮設生息地（temporary habitat：一時的に一時的に動植物が生息できるように設けられた場所）などの革新的で自然を活用した解決策（NbS）を導入して自然を回復・再生する。また、サイトが会社によって所有／管理されている限り、生息地の回復と復元（例：採石場の再生）を通じて生物多様性の向上に取り組むことを約束する。	TNFD		●	●								●	●											
セメント・コンクリート	迅速な生物多様性調査などを活用し、既存のサイトの生物多様性リスク評価を定期的に見直す。	TNFD										●					●								
セメント・コンクリート	河川流域における水質および洪水リスク管理のため、自然を活用した解決策（NbS）の開発を支援する。企業の影響が及ぶ地域における、他の自然回復プロジェクトを支援する。	TNFD							●				●												
セメント・コンクリート	生態系の接続性をサポートするために、生息地の断片化を緩和する対応策を実装する。例えば、野生動物用のオーバーパス（高架橋）、アンダーパス（地下道）、野生動物に優しいカルバート（排水路）、およびキャンピーブリッジ（樹冠橋）など。	TNFD									●		●												
セメント・コンクリート	・一時的および恒久的なリハビリテーション活動中に、蜜や花粉が豊富な生息地、種が豊富な草地、巣作りや越冬のための生息地、浅い縁を持つ池を作成・提供することで、現地での花粉媒介者の保全を促進する。 ・グリーンルーフや壁の建設を行う。 ・殺虫剤の使用を回避する。	TNFD										●	●				●								
セメント・コンクリート	水ストレスのある地域を優先し、持続可能な水管理計画を実施する。行動には、継続的、体系的、または定期的な水質モニタリング、水リスク評価、水ストレスのある地域や干ばつ時期における淡水の取水量の最小化が含まれる場合がある。	TNFD							●				●												
セメント・コンクリート	・処理水の回収を最大化（例：水の再利用とリサイクル、クローズドループ）し、現地の水使用量と既存の緩和政策を収集・定量化・マッピングする。 ・人工湿地を作成して取水を減らし、水質を改善する。 ・雨水を利用する。 ・他の地域の関係者と協力して水資源を共有する（例：セメント・コンクリート工場の近隣で操業している他の企業からの排水や地域社会からの廃水の利用）。	TNFD			●								●												
セメント・コンクリート	水をあまり使わないプロセスを採用し、生産プロセスの水効率を改善する。	TNFD			●								●												
セメント・コンクリート	水の補給プログラムを実施し、取水によって影響を受ける水生生物種の保全・回復を図る。	TNFD			●								●												
セメント・コンクリート	急速に劣化している河川・地域・海域からの砂の浚渫を回避する。	TNFD			●								●												
セメント・コンクリート	可能な限り共処理技術（co-processing）を優先する。例えば、セメント窯では、代替燃料や産業灰や副産物などの代替原材料、および補助的なセメント材料を生産プロセスで使用する。業界の廃棄物ストリームをリサイクルするイノベーションを行う。	TNFD							●									●							
セメント・コンクリート	再利用できるような建設資材の構造を設計する。	TNFD							●									●							
セメント・コンクリート	新技術の統合により、製造プロセスの熱効率を向上させる。例えば、窯の近代化や、水素などの新しいコンセプトの開拓、セメント工場の廃熱回収（WHR：Waste Heat Recovery）設備など。	TNFD							●										●						
セメント・コンクリート	バリューチェーン全体のトレーサビリティを向上させる。	TNFD			●					●															
化学	製品の革新・循環性の向上・顧客教育などにより、汚染リスクと負の影響を緩和する。	B4N	●						●			●													
化学	製造プロセスの効率化・再生可能エネルギーの利用拡大によって、温室効果ガス排出を削減する。	B4N							●																
化学	持続可能な水管理の戦略と実践を確立し、サプライチェーンにおける水ストレスを改善し、流域に水を補給することで、水管理を改善する。	B4N			●																				
化学	責任ある調達を行い、サプライチェーンの信頼性と透明性を向上させ、バイオベースまたはリサイクル可能な材料の持続可能な調達を探索する。	B4N		●								●	●												
化学	自然の保護と回復を支援し、自然を保護する政策・規制の変更を提唱する。	B4N							●							●	●	●							
化学	持続可能な管理戦略と実践によって、水管理を改善する。例えば、定期的な水リスク評価の実施を行う。	TNFD							●									●							
化学	クローズドループ・再利用・リサイクルシステムによって、処理水の回収を最大化する。	TNFD							●									●							
化学	持続可能なバイオベースの原料を使用する。例えば、薬用植物や動物由来のコラーゲン・ゼラチンを、使用後に再利用するなど。	TNFD																●	●						
化学	バイオベースの原料を生産するために再生農業を利用する。例えば、農業用水をより適切に管理するためにswales（広く、浅く、直線的な植生を持つ水路）やKeyline design（土地の水資源を最大限に活用するための造園技術）の手法を促進する。	TNFD																●	●						
化学	循環型経済に関するソリューションに投資する。例えば、有害物質の使用削減や分解性を考慮した化合物・溶液のエコデザインへ移行する、有害廃棄物を最小限に抑えて使用済み製品の再利用を最大化するなど。	TNFD							●									●							
化学	水と土壌の汚染を分子レベルで除去・修復・最小化する。例えば、「グリーンケミストリー 12原則」の採用など。	TNFD							●									●							
化学	廃棄物および廃棄物最小化のためのリサイクルソリューションへ投資する。例えば、原子経済性（atom economy）を最大化してプロセス効率を改善する。	TNFD							●									●							

セクター	アクション	参照先	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
化学	生産に用いるエネルギー源のうち、再生可能エネルギーの利用を増やす。	TNFD							●									●							
化学	自然に調和した調達方針とサプライヤーエンゲージメントの行動を確立する。例えば、入札プロセスにおいてサプライヤーの持続可能性を選定基準として導入する。	TNFD											●			●									
化学	顧客と協力して製品の透明性とトレーサビリティを向上させる。例えば、ブロックチェーンのような先進的なデジタルソリューションを導入して、原産地・生産・最終使用の恒久的な記録を作成する。	TNFD											●			●									
エネルギー	気候への負の影響を緩和するために、脱炭素化を推進する。	B4N								●															
エネルギー	水資源を持続可能に管理する。	B4N	●		●											●									
エネルギー	生息地や生態系の転換を回避し、回復を支援する。	B4N	●	●	●	●										●									
エネルギー	循環モデルを実践する。	B4N							●							●									
エネルギー	バリューチェーンを超えて、協力しながらサステナビリティを提唱する。	B4N														●	●				●	●	●		
エネルギー	新規開発の場所選定において、すべての保護地域、国際的に認められた地域、および重要な生息地（Natura 2000サイトや、それと同等な地域固有のネットワーク・基準を含む）を回避する。	WBCSD			●																				
エネルギー	新規開発では、自然生息地を回避する。避けられない場合は、自然環境の悪化を回避するだけでなく自然環境を良い状態にすることに尽力する。すでに改変された生息地での開発に焦点を当て、開発前よりも自然環境を良い状態にすることに尽力する。	WBCSD	●	●	●	●																			
エネルギー	新規開発およびすべての事業所において、革新的で自然を活用した解決策（NbS）を導入する。開発の終了後に、生息地の復元と再生を実施することにより、自然環境全体を復元、再生させる。	WBCSD		●	●								●	●											
エネルギー	同業者や研究機関と協力して、操業プロセスの負の影響を緩和する革新的な方法を研究する。または研究に資金提供する。	WBCSD											●												
エネルギー	事業所において、水不足時の水使用量を削減し持続可能な水管理を実施する。例えば、定期的な水リスク評価を行ったり、利用可能な企業固有のデータを考慮したりして、水ストレス地域や干ばつ時の淡水の取水を最小化することなどが挙げられる。	WBCSD											●												
エネルギー	事業所において水の補給プログラムと、取水の影響を受ける水生種の保全・回復を実施する。	WBCSD			●																				
エネルギー	・処理水の回収を最大化（例：水の再利用／リサイクル、クローズドループ）し、現地の水使用量と既存の緩和政策を収集・定量化・マッピングする。 ・水の枯渇のリスクが高い地域の再生／復元の可能性を特定する。	WBCSD											●												
エネルギー	サプライヤーと協力し、負の影響が大きい材料を置き換えるために、革新的で、生息地を強化し、生物多様性に優しい持続可能な材料と解決策を採用する。例えば、布製の風力タービン・タービンリーフの使用など。	WBCSD	●																						
エネルギー	生息地の回復プロセスを継続的にモニタリングし、サイトエリアでより大規模な保全および回復プロジェクトを実施するために、地元の保全組織との協力体制を確立する。	WBCSD		●																					
エネルギー	生産中に大量に使用される原材料について、バリューチェーンにリサイクル材料を統合し、バージン材料の使用を削減・回避する。	WBCSD																							
エネルギー	建築物のレジリエンスを高めるために投資する（自然な日陰による快適性、受動的な暖房・冷房機能を目的としたグリーンルーフの設置）。	WBCSD								●															
エネルギー	運転および輸送によるGHG排出量を削減する。	WBCSD								●															
エネルギー	廃止施設や放棄された施設をリサイクルしてサイトを復元・再生し、廃止施設から発生する空気・水・土壌汚染を回避・防止・削減する。	WBCSD							●																
エネルギー	新規および操業中のサイトについて、操業上の汚染防止対策およびモニタリング計画を実施する。例えば、騒音影響の緩和計画など。	WBCSD							●																
エネルギー	効果的な法・政策・行政による措置を講じて汚染・廃棄物のリスクを削減し、生物多様性・生態系の機能とサービスに有害なレベルの汚染物質を導入しないようにする。例えば、過剰な栄養素・有害化学物質・流出物などの汚染物質が挙げられる。	WBCSD							●																
エネルギー	すべての新規／既存の事業所において、生態系にとって重要な在来種や絶滅のおそれのある在来種の繁殖・営巣・移動・休息が行われる地域や季節における建設・操業維持・生産を回避する。	WBCSD				●																			
エネルギー	事業所において、侵入種を排除するために導入経路（例えば、バラスト水の管理や、車両・船舶・設備における契約業者の衛生管理の方法）を特定し、管理する。これによって、在来種・野生種・家畜種の集団内／集団間の遺伝的多様性の回復に取り組む。	WBCSD				●	●	●																	
エネルギー	事業所において、絶滅危惧種への負の影響を最小限に抑え、地域の遺伝的多様性の回復と再生を目指す。	WBCSD				●	●	●																	
エネルギー	造園および修復作業において、その土地の固有種および非侵入種を使用する。	WBCSD				●	●																		
エネルギー	すべての場所で、特に非常に影響を受けやすい場所において、光や騒音などの妨害を削減する。	WBCSD				●	●	●																	
エネルギー	NGOや他の地域関係者を通じてローカルの専門知識を活用し、地域の生態系をよりよく理解し、現地での活動を評価し、地域社会へのリスクと影響を軽減し、関係性を築く。	WBCSD																							

セクター	アクション	参照先	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
エネルギー	地域の生計と教育を促進するための社会プログラムを実施する。	WBCSD																							
エネルギー	自然資本・生物多様性への依存・影響関係・リスクを定期的にモニタリング・評価し、透明性を持って開示しているサプライヤーから調達する。	WBCSD		●	●												●								
エネルギー	UNESCOに指定されている場所や、影響を受けやすい地域、優先地域に負の影響を与えないことを約束するサプライヤーから調達する。	WBCSD		●	●												●								
エネルギー	新規および既存のサイト、またはクリアランス／廃止後のサイトにおいて、生息地の復元と再生を実施および促進するサプライヤーを調達し、関与する。	WBCSD		●	●												●								
エネルギー	サプライヤーと協力して、周辺の自然資本への負の影響を緩和するための政策・行政措置を策定する。	WBCSD		●	●												●								
エネルギー	サプライヤーが、自然資本への負の影響を回避・低減することによるリスク・機会を理解することを支援する。	WBCSD		●	●												●								
エネルギー	生産段階で使用される原材料の第三者認証とトレーサビリティの方法を採用する。	WBCSD															●								
エネルギー	持続可能な水管理計画を実施し、淡水の取水を最小限に抑え、水の回収を最大化しているサプライヤーを優先して採用する。	WBCSD											●			●									
エネルギー	倫理的かつ環境的に認証されたサプライヤーのみ、もしくはそのようなサプライヤーを優先して商品を調達する。	WBCSD																							
エネルギー	認証された持続可能な原材料を使用し、サプライチェーン全体にわたる徹底した調達とトレーサビリティのプロセスを導入する。	WBCSD																							
エネルギー	GHG排出量を削減するための明確な行動や、透明性のある気候戦略、目標を掲げるサプライヤーから調達し協力する。	WBCSD								●															
エネルギー	汚染防止対策を実施しているサプライヤーを優先的に採用し、その影響を定期的にモニタリングし、対応計画を策定する。	WBCSD														●	●								
エネルギー	サプライヤーと協力して循環型ビジネスモデルを開発し、実施することで、直接的な事業運営上の無駄を削減する。	WBCSD														●	●								
エネルギー	持続可能な生産に取り組むサプライヤーから調達し、協力する。	WBCSD																							
エネルギー	重要な種の繁殖期や摂食期における負の影響や攪乱を最小限に抑えているサプライヤーから調達し、協力する。	WBCSD																							
エネルギー	侵略的外来種を測定・モニタリングするサプライヤーを優先して採用する。	WBCSD																							
エネルギー	倫理的に製品を調達し生産しているサプライヤーを優先して採用する。	WBCSD														●	●								
エネルギー	サプライヤーと協力し、地域の生活への影響を透明化する。	WBCSD														●	●								
エネルギー（石炭／燃料／ガス）	・汚染防止システムの設置や、再生可能エネルギーや原子力、風力、バイオマス、水力、太陽光などの非化石燃料を基にした発電方法の開発と利用に関する戦略を検討する。 また、需要側の管理に関するソリューションを用いて電力需要を満たすことも重要である。これには、エネルギー使用を削減する戦略や電力需要をオフピーク時間帯にシフトする戦略が含まれる。 ・高濃度・低濃度の使用中のポリ塩化ビフェニル（PCB）の管理や段階的廃止のための戦略の展開。	TNFD							●								●								
エネルギー（エネルギーインフラ：送電線および配電線）	・安全な配電線の建設（絶縁体と導体の適切な間隔を含む）を考慮することで、設計初期段階で鳥に影響を及ぼすリスクに対処する。 ・鳥の飛行を妨げる装置の設置や、鳥に配慮した設計、電線の埋設、湿地などの敏感な地域を回避するルート設定などによって、鳥と送電線との衝突を減少させる。 ・新しい送電線や連絡道路によって引き起こされる生息地の転換には注意が必要であり、通常、自然のプロセスの永続的な変更につながる。 そのため、エネルギーインフラおよび送電・配電線のライフサイクルの終点を考える際には、新しい資源の利用を最小限に抑え、汚染された土壌を回復するためのリサイクル可能性に重点を置く必要がある。	TNFD										●					●								
エネルギー（水力）	・流量を維持し、魚道を建設することで、水力発電による環境影響の一部を軽減する。 ・ハイドロピーキングによる影響を含む、水力発電の下流の流量レジーム（水の流れのパターンや特性）をよりよく理解するため、継続的なモニタリングを行う。 ・水力発電開発における生物多様性保全に関して、グッドプラクティスを提供する国際的に認められたツールには以下のものがある。 - 水力発電のサステナビリティに関する国際産業慣行ガイドライン（HGIIP：Hydropower Sustainability Guidelines on Good International Industry Practice） - 水力発電のサステナビリティに関する評価プロトコル（HSAP：Hydropower Sustainability Assessment Protocol） - 水力発電のサステナビリティに関するESGギャップ分析ツール（HESG：Hydropower Sustainability ESG Gap Analysis Tool） ・流域（watershed）または水文学流域（hydrological basin）レベルでは、灌漑・飲料水・生態系保全などの多用途のために流域や貯水池を管理するための協調的なアプローチを検討する。 ・また、公益事業者とその他ステークホルダー（地域社会など）のニーズを満たすための水資源確保に関する長期計画も検討する。例えば、表流水の最大・最小流量や、地下水量を管理するための基準の適用、これらを決定・維持する方法が挙げられる。	TNFD					●										●								
エネルギー（原子力）	さまざまな種類の放射性核廃棄物に関して、以下のような管理戦略と保管方法を展開する。 - 一時保管および永久保管。 - 放射性核廃棄物の環境・健康・安全への影響。 - 適用される管理基準・法的枠組みに従ったセキュリティ対策。 - 核廃棄物に関して、国際原子力機関（IAEA）の定義とプロトコルを使用する。	TNFD															●		●						

セクター	アクション	参照先	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
エネルギー（石油・ガス）	新規開発の場所選定において、すべての保護地域、国際的に認められた地域、および重要な生息地（Natura 2000サイトや、それと同等な地域固有のネットワーク・基準を含む）を回避する。	TNFD			●																				
エネルギー（石油・ガス）	新規開発では、自然生息地を回避する。避けられない場合は、自然環境の悪化を回避だけでなく自然環境を良い状態にすることに尽力する。すでに改変された生息地での開発に焦点を当て、開発前よりも自然環境を良い状態にすることに尽力する。	TNFD	●	●	●	●																			
エネルギー（石油・ガス）	新規開発およびすべての事業所において、革新的で自然を活用した解決策（NbS）を導入する。開発の終了後に、生息地の復元と再生を実施することにより、自然環境全体を復元、再生させる。	TNFD		●	●								●	●											
エネルギー（石油・ガス）	同業者や研究機関と協力して、操業プロセスの負の影響を緩和する革新的な方法を研究する。または研究に資金提供する。	TNFD											●												
エネルギー（石油・ガス）	建築物のレジリエンスを高めるために投資する（自然な日陰による快適性、受動的な暖房・冷房機能を目的としたグリーンルーフの設置）。	TNFD								●															
エネルギー（石油・ガス）	運転および輸送によるGHG排出量を削減する。	TNFD																							
エネルギー（石油・ガス）	廃止施設や放棄された施設をリサイクルしてサイトを復元・再生し、廃止施設から発生する空気・水・土壌汚染を回避・防止・削減する。	TNFD							●																
エネルギー（石油・ガス）	新規および操業中のサイトについて、操業上の汚染防止対策およびモニタリング計画を実施する。例えば、騒音影響の緩和計画など。	TNFD							●																
エネルギー（石油・ガス）	効果的な法・政策・行政による措置を講じて汚染・廃棄物のリスクを削減し、生物多様性・生態系の機能とサービスに有害なレベルの汚染物質を導入しないようにする。例えば、過剰な栄養素・有害化学物質・流出物などの汚染物質が挙げられる。	TNFD							●																
エネルギー（石油・ガス）	すべての新規／既存の事業所において、生態系にとって重要な在来種や絶滅のおそれのある在来種の繁殖・営巣・移動・休息が行われる地域や季節における建設・操業維持・生産を回避する。	TNFD				●																			
エネルギー（石油・ガス）	事業所において、絶滅危惧種への負の影響を最小限に抑え、地域の遺伝的多様性の回復と再生を目指す。	TNFD				●	●	●																	
エネルギー（石油・ガス）	すべての場所で、特に非常に影響を受けやすい場所において、光や騒音などの妨害を削減する。	TNFD				●	●	●																	
エネルギー（石油・ガス）	事業所において、水不足時の水使用量を削減し持続可能な水管理を実施する。例えば、定期的な水リスク評価を行ったり、利用可能な企業固有のデータを考慮したりして、水ストレス地域や干ばつ時の淡水の取水を最小化することなどが挙げられる。	TNFD											●												
エネルギー（石油・ガス）	事業所において水の補給プログラムと、取水の影響を受ける水生種の保全・回復を実施する。	TNFD																							
エネルギー（石油・ガス）	先住民族・地域コミュニティ・地域の自然保護団体との連携を確立することによって、生息地の回復プロセスを継続的にモニタリングし、その土域でより大規模な保全・回復プロジェクトを実施する。	TNFD		●																					
エネルギー（石油・ガス）	地域の人々に対して、生計の立て方と教育を促進するための社会プログラムを実施する。	TNFD																							
エネルギー（石油・ガス）	サプライヤーと協力し、地域コミュニティの生活への影響について透明性を確保する。	TNFD														●	●								
エネルギー（石油・ガス）	新規開発において、UNESCOサイト、影響を受けやすい生息地、優先すべき生息地、生物多様性重要地域（KBA）、保全価値の高い地域（Natura 2000サイトや、それと同等な地域固有のネットワーク・基準を含む） に対して負の影響を与えない。	TNFD																							
エネルギー（石油・ガス）	新規開発において、絶滅のおそれのある種が生息する場所を避け、生物多様性の高い環境を失わないことを約束する。例えば洪水対策・水質浄化などを通して、生態系のサービスと機能の低下を低減し、自然の回復と再生によって負の影響を緩和する。	TNFD																							
エネルギー（石油・ガス）	クローズドループ・再利用・リサイクルシステムによって、処理水の回収を最大化する。再生・回復の可能性がある枯渇リスクの高い地域を特定する。	TNFD																							
エネルギー（太陽光）	・太陽光パネルの周囲では、環境の回復・強化を行う機会がしばしばあり、特に以前に劣化した土地で生物多様性を回復させる可能性がある。 ・負の影響は、特に影響を受けやすい地域から太陽光パネルを離して設置し、代わりに水力発電用の貯水池などの人工水域に設置することで緩和できる。ただし水域への直接的な影響は無視できず、標準的な環境面の影響レビューを通じて継続的に注意を払うことが必要である。 ・特に水力発電と浮体式太陽光発電のハイブリッド型発電システムからの水流を放出することによる間接的な影響は、さらに重大である可能性がある。	TNFD																							
エネルギー（太陽光）	・CSP（集光型太陽熱発電）の負の影響は、影響を受けやすい地域から離れた、すでに劣化した土地に設置することで回避できる。 ・また、ドライクリーニング技術などの技術的改善により、負の影響を最小限に抑えることができる。	TNFD																							
エネルギー（風力）	・風力タービンの位置は風力エネルギーの潜在能力に重要であるため、影響を完全に回避することは難しい。 ・重要な鳥の生息地域や移動ルートから風力タービンを離して設置することで負の影響を軽減できる。 ・現地での負の影響を緩和する戦略としては、風力タービンのブレードの視認性を高めること、音響抑止装置、脆弱な鳥がいる場合に特定のタービンを停止する手順をとることなどが含まれる。 ・風力発電所の大規模な集中設置が、他の開発とともに生物種の移動を妨げ、種の個体数に重大な累積的影響を与える可能性があるため、回避することが望ましい。	TNFD																							

セクター	アクション	参照先	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
エネルギー（風力）	・騒音を減らし、敏感な生物種への影響を一時的に抑制するための厳格な建設手順を実施することで、建設が自然に与える負の影響を最小限に抑える。 ・サイトの選定、モニタリングと緊急曳航船（emergency tugs）の使用、速度制限、最適化された航路の採用などの手段によって、船舶事故およびそれに伴う汚染の追加リスクを軽減する。 ・影響の大きさと緩和策の有効性をよりよく理解するためには、継続的なモニタリングとデータ共有が重要である。 ・慎重なサイトの選定や生態系に基づく海洋空間計画プロセスをとることで、運用上の影響および海底生息地への影響を最小限に抑える。	TNFD																							
ファッション・アパレル	負の影響の大きい素材や認証されていない素材の使用を回避する、もしくは削減する。	B4N	●						●			●													
ファッション・アパレル	サプライチェーン全体で有害化学物質の使用を回避する、もしくは削減する。	B4N							●																
ファッション・アパレル	持続可能な水管理を通じて淡水の使用を回避する、もしくは削減する。	B4N			●																				
ファッション・アパレル	荒廃した土地を修復し、再生可能な農業慣行に移行する。	B4N		●								●	●												
ファッション・アパレル	ビジネスモデルを変革し、循環性を高める。	B4N							●							●	●	●							
ファッション・アパレル	新規開発の場所選定において、すべての保護地域、国際的に認められた地域、および重要な生息地（Natura 2000サイトや、それと同等な地域固有のネットワーク・基準を含む）を回避する。	TNFD																							
ファッション・アパレル	農業による自然生態系の土地転換を減少または排除するための方針やコミットメントを実施し、企業の自社生産、動物飼料の調達・集約・加工・取引のために調達された製品に対して、具体的な目標と期限を設定する。 例えば、Accountability Framework Initiativeに従って、2025年までに森林破壊ゼロの目標を設定する。 革製品の場合は、Deforestation-Free Call to Action for Leatherに従い、2035年まで、またはそれ以前に森林破壊・土地転換のないサプライチェーンから牛革を調達することにコミットする。	TNFD																							
ファッション・アパレル	土壌管理計画を作成する。この計画では、土壌の健康に対する主な脅威を特定し、使用する土壌管理手法を説明し、肥料を含むインプットの最適化のアプローチを概説する。	TNFD																							
ファッション・アパレル	特定の生産システムに対して、肥料の種類（窒素、五酸化二リン、酸化カリウム）ごとの過剰な肥料使用を削減するための、期限付き目標を設定する。	TNFD																							
ファッション・アパレル	栄養素の利用効率を高めて流出や富栄養化を減らすための、精密技術、養分のリサイクル、有機肥料といった技術に投資する。	TNFD																							
ファッション・アパレル	農業の効率化技術と、環境に優しい害虫駆除に投資する。	TNFD																							
ファッション・アパレル	有害な農薬の使用や農薬の過剰使用に伴う負の影響を防止・緩和・修復するために、農業管理に関する国際行動規範（International Code of Conduct on Pesticide Management）のベストプラクティスに沿って、総合的な雑草・害虫管理（IPM）の計画を策定・遵守する。	TNFD																							
ファッション・アパレル	河川流域における水質・洪水リスク管理のための、自然を活用した解決策（NbS）の開発を支援する。影響力を持つ地域における他の自然再生プロジェクトを支援する。	TNFD																							
ファッション・アパレル	耕作地における自然の植生・花畑（flower strips）・樹木の被覆といった、再野生化や再生に関するイニシアティブに投資する。	TNFD																							
ファッション・アパレル	繊維の価値を高めるために、その地理的起源や再生可能な景観管理を行っていることを含めてブランド化する（食品やその原材料のビジネスモデルと同様）。	TNFD																							
ファッション・アパレル	遺伝子組換え生物（GMO）の使用を管理する戦略を実施する。	TNFD																							
ファッション・アパレル	定量化でき、実行可能で、期限付きの目標を設定する。 ・特定の目標と期限を設けて、プロセス全体で水の利用効率を大幅に向上させる。 ・特定の目標と期限を設けて、バリューチェーンの水への影響が大きい部分で水の使用を削減する。 ・生産プロセス中に発生した排水を、洗浄や灌漑などの非飲用目的で処理してリサイクルする。または、雨水回収システムを導入することで、水の再利用を促進する。	TNFD																							
ファッション・アパレル	製造に使用される材料の責任を明確にし、サプライチェーンの健全性を示し、評判リスクを軽減するために、生産プロセスで使用される物質の透明性を向上させる。	TNFD																							
ファッション・アパレル	エレン・マッカーサー財団の廃棄物ヒエラルキー（waste hierarchy）に関する原則に従う。 ・リサイクルよりも、レンタル、修理、再利用、再製作活動を通じて製品を使用し続けることが優先されるべきである。 ・製品を設計する際には、以下のような循環型経済の原則に従う。 ・実社会において業界標準よりも長い使用を促進するように、メンテナンス・長寿命・耐久性を考慮して設計されていること（例：交換ではなく修理を優先するようにマーケティングする、耐久性のある素材を使用し時代を超えたデザインを採用する。また、機能的寿命の終了時において循環処理を妨げないように設計する）。 ・再利用可能に設計し、かつ実社会において再利用できるようにすること（例：二次的な市場がある、包装の再利用システムを採用する、標準化されたデザインを採用する）。 ・修理可能に設計し、かつ実社会において既存の修理システムを利用できるようにすること（例：修理店のネットワークまたは自社の修理サービスを利用する）。 ・例として、モジュール設計の採用、メンテナンス予測センサーの内蔵、修理診断、第三者が修理できる設計の採用、再製造のための設計の採用、業界全体で標準化されたコンポーネントの使用などが検討できる。	TNFD																							

セクター	アクション	参照先	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
ファッション・アパレル	機能的寿命が終了する段階において、下記を検討する。 ・分解を考慮して設計する（例：製品コンポーネントパスポート（product-component passport）、モジュール設計、可逆接続（reversible connection））。 ・再製造や改修できるように設計する（例：モジュール設計）。 ・実社会で運用されている既存のリサイクルシステムを利用する方法で、リサイクル可能に設計する（例：材料が複雑でない、毒性が低い、材料の分離が容易）。 ・実社会で運用されているシステムを利用する方法で、栄養素の循環に関して要件を満たすように設計する（例：堆肥化および嫌気性消化を可能にする）。	TNFD																							
ファッション・アパレル	製品を最高の価値で使い続けるビジネスモデル（レンタルや中古品販売など）を業界標準とし、経済の発展を資源消費から切り離す。 短期的な衣料レンタル、再販売、メンテナンスなどのビジネスモデルやパートナーシップを採用する。例えば、衣料のリスタイリング・コンサルティング・アップグレード・カスタマイズ・自宅での修繕に関するアドバイスや店内修理、その他のサービスの提供や、地域社会に拠点を置く修理提供者とのパートナーシップの形成などが挙げられる。	TNFD																							
ファッション・アパレル	製造されたすべての製品が使用されていることを確認する。過剰な在庫は最小限に抑え、決して廃棄しない。	TNFD																							
ファッション・アパレル	製品の物理的な魅力や感情的な魅力を維持するために必要な知識・ツール・サービスを、ユーザーと顧客に提供する。	TNFD																							
ファッション・アパレル	企業の製品が実際に回収・再利用・再製造・リサイクルされるようにするためのインフラ形成をサポートする。	TNFD																							
ファッション・アパレル	定量可能かつ実行可能で、期限付きの目標を立て、実行する。下記は一例。 ・絶滅のおそれのある種を減らすために、目標と期限を設定する。 ・種の絶滅リスクが高い地域からの調達を回避する。 ・これらの種の回復を支援する。	TNFD																							
ファッション・アパレル	ZDHC（Zero Discharge of Hazardous Chemicals）の「Roadmap to Zero」などの業界主導の協力的な枠組みに参加し、ファッションに関連するグローバルのバリューチェーンから有害化学物質を排除する。これには以下が含まれる。 ・ZDHCの人造セルロース繊維（MMCF：Man-Made Cellulosic Fibres）に関するガイドライン：持続可能な化学物質管理、廃水、大気排出における業界のベストプラクティスを実施するために、サプライチェーンを支援し、進捗を監視し、継続的な改善をモニタリングするための性能基準を詳細に示す。 ・ZDHCの製造制限物質リスト（MRSL：Manufacturing Restricted Substance List）：有害物質のリストを継続的に更新し、その意図的な使用を制限し、アパレル・繊維・革・フットウェア産業の製造プロセスをより安全で持続可能な代替品に切り替える。 ・ZDHCの廃水ガイドライン：アパレル・繊維・革・フットウェア産業のサプライチェーン全体で産業廃水や汚泥に対するグローバルな期待事項を設定し、廃水排出や汚泥の品質・処分経路のガイドラインを定める。 ・ZDHCの化学物質管理システム（CMS：Chemical Management System）フレームワーク：サプライチェーン内で持続可能な化学物質管理を行うためのベストプラクティスと要件を提供する。 ・AFIRM（Apparel and Footwear International RSL Management Group）：完成品に含まれる制限物質を、AFIRM制限物質としてリスト化している。大手ブランドは独自の制限物質リスト（RSL）を持つことが多いが、共通の制限物質リスト（RSL）および製造制限物質リスト（MRSL）の採用により、製造業者への要求をシンプルにすることで、最も有害な物質をより迅速に排除できる。	TNFD																							
ファッション・アパレル	サプライチェーン全体で使用される化学物質の透明性を向上させ、最も汚染の多い物質の段階的廃止を支援する。	TNFD																							
ファッション・アパレル	非バージン素材を優先的に調達して使用する。非バージン素材の調達が困難な場合は再生可能なバージン素材を使用する。	TNFD																							
ファッション・アパレル	Microfibre Consortiumが開発したツールを活用し、採用する。	TNFD																							
ファッション・アパレル	製品の使用段階における水路へのマイクロファイバーの放出を調査し、それに応じて緩和措置や代替材料を検討・実施する。	TNFD																							
ファッション・アパレル	エレン・マッカーサー財団のGlobal Commitment on plasticsに沿って、以下の測定可能な目標のいずれかを設定する。 ・バージンプラスチックの使用を減少させるための具体的な目標と期限を設定する。企業のバージンプラスチック包装の重量を百万メートルトン（MMT）単位で表す。 ・企業のプラスチック包装の100%が再利用可能・リサイクル可能・堆肥化可能であることを確保するための、具体的な目標と期限を設定する。 ・使用されるすべての包装において、消費後にリサイクルされる素材の割合を増加させるための、具体的な目標と期限を設定する。 ・すべての問題のある、または不要なプラスチック包装を排除するための、具体的な目標と期限を設定する。	TNFD																							
ファッション・アパレル	推奨されていない化学物質を使用しない、安全な素材製品と生産プロセスを開発し、拡大するために集団的なイノベーションを推進する。	TNFD																							
ファッション・アパレル	アパレル、繊維、アクセサリーの使用後の選択肢を拡大するために、店内修理サービス・リサイクルモデル・廃棄物管理戦略などの革新的なビジネスモデルを設計する。	TNFD																							
ファッション・アパレル	バリューチェーン全体で持続可能な農業への移行を促進する。例えば土壌管理計画を作成し、土壌の健康に対する主な脅威を特定し、使用されている土壌管理を説明し、肥料の使用を含む投入物の最適化へのアプローチを概説する。	TNFD																							
ファッション・アパレル	特定の生産システムに対して、肥料の種類（窒素、五酸化二リン、酸化カリウム）ごとの過剰な肥料使用を削減するための、期限付き目標を設定する。	TNFD																							
ファッション・アパレル	栄養塩類の利用効率を高め、栄養塩類の流出や富栄養化を減らすため、精密技術、栄養素のリサイクル、有機肥料の技術などに投資する。	TNFD																							
金融サービス	自然環境に取り組むための内部のキャパシティ・ビルディングを行う。	B4N															●	●			●		●		

セクター	アクション	参照先	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
金融サービス	自然に配慮した金融政策・戦略・移行計画を策定する。	B4N														●				●	●				
金融サービス	リスク管理システムに自然関連の要素を組み込む。	B4N														●	●								
金融サービス	自然関連の報告システムを開発する。	B4N															●								
金融サービス	自然への影響やリスクの高いビジネスの改善に取り組む。	B4N														●					●		●		
林業	森林保護活動を維持または強化する。	B4N			●	●	●			●		●	●												
林業	加工・製造・輸送による影響を軽減する。	B4N							●	●															
林業	材料と製品の回収を最大化する。	B4N							●									●							
林業	バリューチェーンを超えた協力関係を築き、アドボカシーを行う。	B4N								●						●					●				
林産品	土壌と森林の炭素除去を強化する。ただし、肥料使用量の増加は起こさないようにする。	TNFD								●															
林産品	加工・製造段階において、 ・操業時のGHG排出量を削減する。 ・長期的な炭素貯蔵の強化によって気候変動へ及ぼす負の影響を削減する。	TNFD								●															
林産品	バリューチェーンの上流において、 ・直接事業およびバリューチェーンにおける森林減少を回避する。 ・重要な生物多様性価値のある地域から、集中的に管理される森林への転換を回避する。 ・自然の再生能力を超えた森林資源の過剰利用を回避する。 加工・製造段階において、 ・重要な生物多様性価値のある地域や水ストレス地域での新規事業を回避する。 ・強固なデューデリジエンスやトレーサビリティシステムがない原材料および林産物の調達を回避する。 バリューチェーンの下流において、 ・重要な生物多様性価値のある地域や水環境に隣接する地域における、埋立地・リサイクル施設の設置を回避する。	TNFD	●		●							●					●								
林産品	バリューチェーンの上流において、 ・収穫後の作業林を回復・再生させる。	TNFD	●		●								●		●										
林産品	バリューチェーンの上流において、 ・収穫後の回復・再生時に森林の多様性を保全する。 ・収穫時に森林の多様性を保全する。 ・重要な生物多様性と炭素価値のある地域を復元する。 ・生息地間の接続性を復元する。 ・気候条件に適応した在来種または絶滅危惧種の樹木を復元する。	TNFD	●	●	●	●	●					●	●												
林産品	加工・製造段階において、 ・生産廃棄物を削減・再利用する。 バリューチェーンの下流において、 ・林産物の回収・リサイクル促進によって廃棄物を削減する。	TNFD							●									●							
林産品	加工・製造段階とバリューチェーンの下流において、 ・化石燃料使用製品の代替品を開発するための活動・研究・開発を行う。	TNFD							●																
林産品	バリューチェーンの上流において、 ・水域の保全・保護を行う。	TNFD		●	●																				
林産品	バリューチェーンの下流において、 ・林産物の利用を促進することにより、化石原料や再生不可能な材料の使用を削減する。	TNFD								●															
林産品	バリューチェーンの上流において、 ・侵略的外来種の導入に関連する要因を削減する。	TNFD						●																	
林産品	バリューチェーンの下流において、 ・種のマッピングと管理プログラムを実施する。 ・地域の環境に適応した在来種や絶滅危惧種を回復させる。	TNFD						●			●														

セクター	アクション	参照先	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
林産品	在来種を使った工芸品を活用した社会プログラムを行う。	TNFD									●														
林産品	生物多様性の重要なトピックに関して、コミュニティを教育する。	TNFD										●					●								
林業	生物多様性と炭素ストックとしての価値が高い地域を復元する。	WBCSD		●						●		●													
林業	生息地間の接続性を復元する。	WBCSD		●								●													
林業	気候条件に適応した在来種または絶滅危惧種の樹木を回復させる。	WBCSD		●							●														
林業	土壌と森林における炭素除去を強化する。	WBCSD								●															
林業	生物多様性と炭素ストックとしての価値が高い地域を保護する。	WBCSD			●							●													
林業	収穫後の植え替え時に森林の生物多様性を保全する。	WBCSD		●								●	●												
林業	苗木園や森林における水の使用と廃棄物を削減する。	WBCSD			●												●								
林業	水域の汚染を防止する。	WBCSD			●																				
林業	周辺の道路網からの影響を軽減する。	WBCSD			●							●													
林業	土地利用を最適化する。	WBCSD	●																						
林業	気候変動に起因する環境への圧力を軽減する。	WBCSD								●	●														
林業	侵入種による環境への圧力を軽減する。	WBCSD				●		●			●														
林業	密猟を防止する。	WBCSD				●	●									●									
林業	土壌の質を守る。	WBCSD			●				●			●													
林業	収穫の間に生物多様性を保全する。	WBCSD			●							●													
林業	収穫後に、生産性の高い森林を再植林する。	WBCSD										●													
林業	収穫・輸送時のGHG排出量を削減する。	WBCSD							●	●															
林業	直接事業とバリューチェーンにおける森林破壊を回避する。	WBCSD															●								
林業	重要な生物多様性価値のある地域について、集約的な森林管理への転換を回避する。	WBCSD	●														●								
林業	工場敷地とその周辺地域の生物多様性の価値が高い地域を復元する。	WBCSD		●								●													
林業	廃止された工場やその他のインフラを復旧する。	WBCSD		●																					
林業	工場跡地や周辺地域における生物多様性の価値が高い地域を保護する。	WBCSD			●																				
林業	操業時のGHG排出量を削減する。	WBCSD								●															
林業	操業によって生じる廃棄物を削減および再利用する。	WBCSD							●																
林業	光・騒音・振動などの操業による障害を軽減する。	WBCSD																							
林業	水の使用と廃棄物を削減する。	WBCSD							●																
林業	水と土壌の汚染を削減する。	WBCSD							●																
林業	大気汚染を削減する。	WBCSD							●																
林業	有害化学物質の使用を削減する。	WBCSD																							
林業	生物多様性の価値が高い地域や水資源が不足している地域での新規事業の設立を回避する。	WBCSD									●	●													
林業	輸送の利用を減らす。	WBCSD							●																
林業	輸送による負の影響を減らす。	WBCSD							●																
林業	バリューチェーンにおけるGHG排出量を削減する。	WBCSD								●															
林業	林産物の利用を促進することによって、化石燃料や再生不可能な材料の利用を削減する。	WBCSD																							
林業	製品の寿命を延ばす。	WBCSD																							

セクター	アクション	参照先	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
林業	廃棄物処理による汚染を削減する。	WBCSD							●																
林業	林産物の回収率を向上させる。	WBCSD							●																
林業	他産業による残留物・副産物の再利用率を向上させる。	WBCSD							●																
林業	生物多様性の価値が高い地域や水域に隣接した地域において、新たな埋立地やリサイクル施設を設置しない。	WBCSD										●													
淡水	リサイクル水を使用することで、施設が水を汲み上げる必要と水消費量の純増がないようにする。	SBTN																							
淡水	施設が生産や操業のために飲料水を使用する必要がないように、処理水およびその他の非飲料水を使用する。	SBTN																							
淡水	水の効率的な利用を通じて、追加的な水の使用を回避する。	SBTN																							
淡水	影響を受けやすい生態系および限られた取水源からの、地下水を含む取水を回避する。	SBTN																							
淡水	水路や流域に沿ってグリーンインフラやグレーインフラを構築し、地表流出と浸食を回避、削減、または遅らせる。	SBTN																							
淡水	生息地の土地転換を回避することで、土壌の浸食を回避して水を貯留・処理・供給する流域の能力を維持し、陸域生態系や水生生態系への影響を軽減する。	SBTN																							
淡水	有害化学物質の使用を廃止する。	SBTN																							
淡水	排水の環境への液体排出をゼロにする。	SBTN																							
淡水	汚濁負荷低減のために排水処理施設を設置する。または、既存の排水処理施設を改修する。	SBTN																							
淡水	行動や技術の変化による効率的な水の使用を通じて、既存または将来の水使用量を削減する。	SBTN																							
淡水	水を大量に消費する生産要素を削減する。	SBTN																							
淡水	地表面の流出とそれに伴う流域内の浸食を制限するために、硬い表面を減らし、透水性の表面を作る。	SBTN																							
淡水	地表および地下水源に影響を及ぼす点源汚染を削減する。	SBTN																							
淡水	再生農業などの農業ベストマネジメントプラクティス（BMP）の推進・採用によって、栄養分の流出を削減する。	SBTN																							
淡水	集水域における劣化した土地被覆を回復し、水の浸透量を増加させ、汚染物質の流出を減少させる。	SBTN																							
淡水	湿地やその他の水生生息地を回復および管理し、水質と水量を改善する。	SBTN																							
淡水	生態系機能を回復するために、汚染された土地・水を修復する。	SBTN																							
淡水	流域または河岸・湿地の緩衝地帯の水質と水量を改善するために、固有の植生を植える、または生態系を復元する。	SBTN																							
淡水	外来種の植物および侵略的な在来種の植物を除去する。	SBTN																							
淡水	さまざまな劣化した生息地にわたって土壌の健康を回復させる。	SBTN																							
淡水	管理帯水層再充填（MAR：Managed Aquifer Recharge）などのソリューションを通じて、帯水層および地下水源を再充填する。	SBTN																							
淡水	自然の流量レジームを回復し、水文学的接続を再確立する（例：ダムや堤防などの構造物や障壁を除去する、既存のダムを再運用して自然の流量体制により適合させる、湿地を再湿潤化する）。	SBTN																							
淡水	再生農業を実施して劣化した農業のランドスケープを再生させる。	SBTN																							
淡水	水質と水量の目標を達成するために、水質浄化のための人口湿地（treatment wetland）または藻類を活用したフィルターを構築する。	SBTN																							
淡水	人工的な水景観（例：池・川・湿地）を含めた都市景観に変革する。	SBTN																							
淡水	企業内および流域への影響に関して、水量や水質にポジティブな変化をもたらす方針・ガイダンスを作成する。	SBTN																							
淡水	持続不可能な製品やビジネス慣行を変革または置換することで、持続可能な製品ラインを拡大する。	SBTN																							
淡水	設計者の行動に影響を与える。例えば、製品を消費する際の水の使用を減らしたり、非点源汚染を減らしたりする。	SBTN																							
家庭用品・パーソナルケア製品	バリューチェーン全体で水管理を改善する。	B4N			●				●																
家庭用品・パーソナルケア製品	責任を持って調達し、原料を持続可能なバイオベースまたはその他の再生可能素材に置き換える。	B4N		●	●							●						●							
家庭用品・パーソナルケア製品	教育と透明性の向上を通じて、製品の使用および廃棄に関する顧客の行動を変える。	B4N																●							
家庭用品・パーソナルケア製品	責任あるビジネス慣行と自然を活用した解決策（NbS）への投資を通じて、自然保護と再生を支援する。	B4N		●	●							●	●								●				
家庭用品・パーソナルケア製品	循環を拡大し、持続可能な製品とパッケージを提供し、集団行動と政策提言に関与する。	B4N							●			●					●	●							

セクター	アクション	参照先	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
土地	汚染、排水、流出 (runoff) を回避する。酸性化の回避を含む。	SBTN																							
土地	すべての木材や非木材製品のモニタリング・パトロールおよび森林利用の規制を通じて、違法伐採を回避する。	SBTN																							
土地	取組みや複数の政策手段を通じて、外来侵入種 (IAS) の侵入を管理する (例: 林業活動を監視する、攻撃的な在来種を除去する、侵入種を除去する)。	SBTN																							
土地	直接操業・サプライチェーンの両方において、自然の土地転換ゼロを実現する。	SBTN																							
土地	重要な自然の生息地と保全価値の高い地域を保護する。	SBTN																							
土地	新たに転換された自然生態系やCore Natural Landにおいて、商品生産をしない。	SBTN																							
土地	新たに転換された自然生態系やCore Natural Land、またはそれに隣接した土地に、新規事業・埋立地・リサイクル施設を作らない。	SBTN																							
土地	生物多様性に負の影響を及ぼすことが証明されている残留性の有機汚染物質や化学物質 (有害化学物質および危険物質を含む) を回避する。	SBTN																							
土地	さまざまな手法によって、影響を押さえた伐採 (RIL: Reduced Impact Logging) を実施する。	SBTN																							
土地	保全型農業の実践によって影響を軽減する。	SBTN																							
土地	遮光システム・飼料改良・技術と道具の改善などを通して、食料生産性を向上させ、実際の収穫量と潜在的な収穫量のギャップを埋める。	SBTN																							
土地	化学農業や化学肥料の使用を最小限に抑えるなど、農業における土地・肥料・農業をより効率的に使用する。	SBTN																							
土地	直接操業およびサプライチェーンにおける農地利用のフットプリントを削減する。	SBTN																							
土地	持続可能な森林管理に向けた改善活動を行う。例えば、劣化した森林苗木を追加植栽する (enrichment planting)、二次林の自然な回復 (acahuales)、森林の垂直構造と年齢構成の多様化、季節計画、森林の一部だけを順次伐採し森林の被覆を維持する (continuous cover forestry)、意図的に高い位置で伐採し生息場所として機能させる (high-stumps)、森林伐採時に意図的に伐採せずに残しておく残存木 (retention tree)、腐朽木の維持、林業、社会的林業、持続可能な森林地、成熟森林、自然森林、二次林、改良された植林地などがキーワードとなる。	SBTN																							
土地	耕作地管理を改善する。例えば、灌木の管理、作物残渣管理、等高線農業、被覆作物、地面の被覆の管理、休耕地の改善、再植生など。	SBTN																							
土地	放牧地管理を改善する。植林や、計画的な放牧など。	SBTN																							
土地	家畜管理を改善する。農牧業 (agropastoral) ・農業林間放牧 (agro-silvopastoral) ・林間放牧 (silvopasture) ・自然牧草地 (natural pasture) ・多年生牧草地と穀物、林間放牧の強化、代替飼料の使用などがキーワードとなる。	SBTN																							
土地	光・騒音・振動などの操業における周辺環境への妨害を、サイレンサーを用いるなどして軽減する。	SBTN																							
土地	資源採取地域のリスクをモニタリングし、過剰に採取された種・絶滅のおそれのある種・ワシントン条約 (CITES) に登録されている種の資源利用を最小限に抑える。	SBTN																							
土地	出荷とサプライヤーの統合・適切な廃棄物処理の確保・有害廃棄物の安全な処理・食品貯蔵の転換などを通じて、食料生産・非食料生産による敷地外への影響を低減する。	SBTN																							
土地	流通・輸送を改善する。例えば、食料システムのローカル化や、Core Natural Landsへの圧力を回避するための道路網の最適化を行うなど。	SBTN																							
土地	収穫後、生産、サプライチェーン、顧客、小売の各レベルにおいて、食品廃棄物を削減する。	SBTN																							
土地	例えば、水ストレス地域での水集約種の使用を最小限に抑える、苗床での水使用を減らす、灌漑システムを改良する、雨水集水・等高線農業・段取り農業・管理排水・地下水と地表水の保護・水文学的接続の再確立など、水効率の高い農業を実践する。	SBTN																							
土地	計画的な焼却を行うなど、火災管理を実践する。	SBTN																							
土地	持続可能な慣行を通じて土壌侵食を削減する。植生による緩衝地帯を設置する保全耕作 (conservation tillage)、無耕起栽培、帯状栽培、段階的または急な段々畑の採用など。	SBTN																							
土地	アグロフォレストリーを実施する。例えば、天水栽培、穀物主体 (cereal-dominated) の農業、内陸における農業、日陰で育てられたシェードグロウンコーヒー、氾濫原で行われる農業、改良されたミルパ (Milpa)、灌漑農業、樹木と多年生作物・ケスングアルシステム (Quesungual system) ・主食穀物のアレイ農業 (樹木の列の間で栽培する方法) などがキーワードとなる。	SBTN																							
土地	土壌の圧密や塩類化を防止・低減する。	SBTN																							
土地	水ストレス地域での新たな水集約型事業を回避する。例えば沿岸のグリーンベルトを作るなど、生息地の保全・きれいな水の供給・雨水管理のための流域と沿岸湿地の保護・創出・再生・改変防止を行う。	SBTN																							
土地	泥炭地の転換を避け、回復を実施する。	SBTN																							
土地	有機農業に関連する認証制度 (例: RTRS、RSPO、オーガニックコットン基準) を促進・実施・改善する。	SBTN																							
土地	森林認証制度を促進および改善する。例えば、FSC認証の商品や、森林破壊および転換のないセクター・サプライチェーン・場所を用いるなど。	SBTN																							

セクター	アクション	参照先	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
土地	循環型経済を奨励し、投資する。例えば、ペーパーラッジ（製紙工程で出る廃棄物）のバイオエネルギーや肥料への使用、また紙繊維や充填剤をレンガ産業に使用するなど。	SBTN																							
土地	土壌有機炭素含有量を増加させる。例えば、収穫残渣・バイオ炭による有機物投入など。	SBTN																							
土地	農地の持続的な集約化を拡大・強化する。作物と家畜の混合生産モデルの採用など。	SBTN																							
土地	基質の安定化・土壌保全・稲藁の管理・肥沃度管理・土壌の表面を覆うマルチング（mulching）などを通じて、土壌を健康にする。	SBTN																							
土地	持続可能なビジネス慣行によって既存のプランテーションを再生させる。例えば、一年生作物・アグロフォレストリー・商業樹木・竹・Enrichment strips・Open field・コーヒーノキの植え替え・多年生作物と樹木・拡大輪作システム・畜産地域外の木材の採用などがキーワードとなる。	SBTN																							
土地	ランドスケープ規模の目標およびステークホルダーのニーズに沿って、生態学的生産性を向上させる。例えば、生態学的農業・林間放牧・アグロフォレストリー・境界植栽（boarder plantings）・緑の回廊などがキーワードとなる。	SBTN																							
土地	土地の強化に重点を置いて食料生産を行う。例えば、有機農業・持続可能な生産・持続可能な収穫率・再生農業などがキーワードとなる。	SBTN																							
土地	生態系や景観を復元する。例えば、自然再生・生息地の断片化・在来植生・花粉媒介者の生息地などがキーワードとなる。	SBTN																							
土地	保護林・街路樹・緩衝地帯・緑の回廊などを作ることで、生物多様性を回復させ、生態系を保全する。	SBTN																							
土地	再植林、新規植林、自然再生、過去の土地転換の修復など、森林景観の再生を支援する。	SBTN																							
土地	河岸の緩衝地帯を回復させ設置する。河川管理・緩衝地帯の設置・氾濫原の生息地の設置などがキーワードとなる。	SBTN																							
土地	湿地を復元させる。※ラムサール条約の定義では、湿地には、河川・湖・氾濫原・沿岸地域などが含まれる。	SBTN																							
土地	森林破壊された土地や、劣化した土地の生態系の回復を支援する。例えば、劣化した自然地（草地）・採石場・廃止された工場やその他のインフラ・周辺影響・汚染および毒性の修復および処理など。	SBTN																							
土地	複数の利益を提供するための管理を行う。例えば、土地の改善と経済・生活活動管理を同時に改善する。	SBTN																							
土地	持続可能な土地管理の慣行に報酬を与える。	SBTN																							
土地	サプライチェーンを活用して、生産システムをSBTs for Natureに沿って変革する。	SBTN																							
土地	自然に優しい政策を推進する。	SBTN																							
土地	管轄アプローチの一環として、場所に基づくプロジェクトを実践する。	SBTN																							
土地	補助金制度を改革する。	SBTN																							
土地	統合的生産システムやセクター間の連携と協力を提唱する。	SBTN																							
土地	土地利用のゾーニングやコミュニティのマッピングを行い、空間と環境の統合的なランドスケープ計画・土地資源の分権化、共同管理の仕組みを確立する。	SBTN																							
土地	地域の森林や庭園を整備する。	SBTN																							
土地	インプットやアウトプット、金融サービスに関する市場へのアクセス改善に向けた取組みを実施する。	SBTN																							
土地	農業保全プログラムへ参加する。	SBTN																							
土地	リスクを共有するメカニズムやリスクを移転するメカニズムを提唱し、実施する。	SBTN																							
土地	地域社会の権利と社会的保障を支援する（例:集団行動の方法や手順、慣習的な土地所有権の尊重、アクセスと所有権、社会的保護および変化に適応的なセーフティネット）。	SBTN																							
土地	天候や健康に関する保険を採用する。	SBTN																							
土地	生態系サービスへの支払い（PES：Payments for ecosystem services）と森林減少・劣化からの排出削減に関する政策を改善する。また、例えば、enrichment planting（多様性を高めるための植林）に対する支払いなど、多機能な土地管理を奨励する。	SBTN																							
土地	環境活動に関するインセンティブ制度を導入する。例えば、景観回復のための財政的な物資や現物による支援を提供する。	SBTN																							
土地	面積あたりの収量だけでなく、栄養価・環境や社会へのコスト・健康的な景観のメリットといった幅広い価値を含めて農業生産を測定する方法を開発し、適用する。	SBTN																							
土地	プラントベースの食品やホールフードへの移行など、食生活の変容を促す。	SBTN																							
金属・鉱業	事業全体で「生物多様性の損失ゼロ」または「生物多様性の純増」に尽力する。サイトでの自然のモニタリング・記録・調査を改善する。	TNFD																							
金属・鉱業	地方自治体と協議して生態学的価値の高い地域を特定し、自然の評価と土地管理を実施する。	TNFD																							
金属・鉱業	生物種に焦点を当てた生息地管理と水管理を行うことで、自然の特徴を強化・補充する活動を行う。	TNFD																							

セクター	アクション	参照先	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
金属・鉱業	深海における採掘を回避する。	TNFD																							
金属・鉱業	さまざまなベストプラクティスを採用する（例：適切な照明・線形インフラにおける最適な交差点の検討・尾鉱施設や風力タービン、電力インフラにおける視覚および聴覚妨害を抑止する装置）。	TNFD																							
金属・鉱業	水に関する監査・状況に応じた目標設定などのベストプラクティスや、再利用・リサイクルシステムなどの新しい技術を活用する。	TNFD																							
金属・鉱業	自然に沿った調達方針を設定する。	TNFD																							
金属・鉱業	業界団体と協力して、サプライヤーに対する共通のデータ要求を作成する。	TNFD																							
金属・鉱業	最もリスクの高いすべてのTier 1サプライヤーに、優先地域での活動に関する自然関連の依存・影響・リスク・機会評価の実施と、その結果を開示するよう、要件を設定する。	TNFD																							
金属・鉱業	精密採掘技術に投資し、天然化学的または非化学的抽出技術を開発する。	TNFD																							
旅行	影響を受けやすい地域でのオーバーツーリズムを回避し削減する。	B4N	●		●	●					●													●	
旅行	資源の使用と汚染を回避し削減する。	B4N							●									●							
旅行	観光地を修復・再生させる。	B4N		●	●							●						●						●	●
旅行	先住民や地域社会と有意義に関わり、観光業界に変革をもたらす。	B4N																						●	●
旅行	「責任ある旅行」を提唱して観光業界に変革をもたらす。	B4N								●								●					●	●	●
廃棄物管理	埋立地でのメタン排出を回避し削減する。	B4N								●															
廃棄物管理	廃棄物管理プロセス全体で、エネルギーと水の使用を回避し削減する。	B4N			●																				
廃棄物管理	廃棄物管理地や過去に影響を受けた生態系を修復、再生させる。	B4N		●	●							●													
廃棄物管理	循環型経済によって、廃棄物管理から資源管理へ転換の転換を行う。	B4N							●								●	●							
廃棄物管理	政策提言と協働によってセクターに変革をもたらす。	B4N														●		●							
水道事業・水道サービス	水が不足している地域や、生物多様性が重要な地域での淡水の調達を避け、持続不可能な淡水の使用を減らす。	B4N			●																				
水道事業・水道サービス	水質汚染を防止し削減する。	B4N							●																
水道事業・水道サービス	温室効果ガス排出を回避し削減する。	B4N								●															
水道事業・水道サービス	生息地と生態系を回復・再生させる。	B4N		●	●					●			●												
水道事業・水道サービス	循環性の強化、協働、政策を通じてセクターに変革をもたらす。	B4N							●							●	●								

凡例
● 参照ガイダンス等におけるマッピング
● WBCSD “Roadmaps to Nature Positive : Foundations for all businesses” にて紐づけされているGBFとアクションのマッピング

KPMGサステナブルバリューサービス・ジャパン

有限責任 あずさ監査法人／KPMGあずさサステナビリティ株式会社

sustainable-value@jp.kpmg.com

kpmg.com/jp/sustainable-value

本冊子で紹介するサービスは、公認会計士法、独立性規則および利益相反等の観点から、提供できる企業や提供できる業務の範囲等に一定の制限がかかる場合があります。

詳しくはあずさ監査法人までお問い合わせください。

kpmg.com



本冊子は、KPMGインターナショナルが2024年10月に発行した「Mapping of Business Contributions to GBF and NBSAPs」を、KPMGインターナショナルの許可を得て翻訳したものです。翻訳と英語原文間に齟齬がある場合は、当該英語原文が優先するものとします。

ここに記載されている情報はあくまで一般的なものであり、特定の個人や組織が置かれている状況に対応するものではありません。私たちは、的確な情報をタイムリーに提供するよう努めておりますが、情報を受け取られた時点およびそれ以降においての正確さは保証の限りではありません。何らかの行動を取られる場合は、ここにある情報のみを根拠とせず、プロフェッショナルが特定の状況を綿密に調査した上で提案する適切なアドバイスをもとにご判断ください。

© 2024 Copyright owned by one or more of the KPMG International entities. KPMG International entities provide no services to clients. All rights reserved.

© 2025 KPMG AZSA LLC, a limited liability audit corporation incorporated under the Japanese Certified Public Accountants Law and a member firm of the KPMG global organization of independent member firms affiliated with KPMG International Limited, a private English company limited by guarantee. All rights reserved. 25-1017

KPMGは、グローバル組織、またはKPMG International Limited（「KPMGインターナショナル」）の1つ以上のメンバーファームを指し、それぞれが別個の法人です。KPMG International Limitedは英国の保証有限責任会社（private English company limited by guarantee）です。KPMG International Limitedおよびその関連事業体は、クライアントに対していかなるサービスも提供していません。KPMGの組織体制の詳細については、kpmg.com/governanceをご覧ください。

The KPMG name and logo are trademarks used under license by the independent member firms of the KPMG global organization.

本冊子において、「私たち」および「KPMG」はグローバル組織またはKPMG International Limited（以下「KPMGインターナショナル」）の1つ以上のメンバーファームを指し、それぞれが独立した法人です。

Designed by Evalueserve.

Publication name: Mapping of Business Contributions to GBF and NBSAPs | Publication number: 139714-G | Publication date: October 2024